

美術年報

1995



徳島県美術家協会

は　じ　め　に

春の第3回放美展は、盛会のうちに無事終了した。4月27日（水）～5月1日（日）の会期、郷土文化会館の会場には鑑賞を楽しむ愛好家はとだえることなく、開かれた美術展の所期の目的を十分達成できたことをよろこびたい。平成7年第4回展の日程、その他の計画も決定していることとて、更に軌道にのり伸展するよう努力を重ねていく覚悟である。

秋11月には恒例の第49回県美術展が実施された。第1期書道部門、11月9日（水）～16日（水）、第2期日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門、18日（金）～23日（水）の期間。展示数1,219点、年を重ねて内容も充実、鑑賞者の期待に十分そえたと思う。ただ本年も部門によつては非常な厳選となり、出品者にとって入選のむずかしい県展となった。しかし公募展の宿命を考え、難関を突破してこそ報いられるものの大きいことに期待し、まげずに挑戦を続けてほしいと願うとともに、出品者の皆様には心から敬意を表する次第である。

県展もいよいよ第50回記念展を迎える。半世紀にわたりつみかさねてきた県美術界への功績と影響は筆舌につくしがたいものがある。第50回展が期待どおりの記念展となるよう努力し、また成功を祈念する次第である。

つぎに各部門における活動や、関係美術団体、個人の活躍も例年におとらず、県美術文化振興のために大きな足跡を残したことを心からよろこびたい。

個人の活動のうち特記しておきたいのは、新居藍州書道部会長の古稀記念の書作展と作品集出版が非常に好評で、県芸術祭で最優秀賞に輝いたことは、心からおよろこびを申しあげる。また洋画部の浅田二郎氏の喜寿を記念しての個展と、40年にわたる作家活動の中から生まれた65点の作品による画集を刊行されたこと、重ねてお祝い申しあげる。更に彫刻部の濱口恵理事が、モダンアート出品版画を主に大きな個展を、相生森林美術館で開き木版画の美を、楽しく鑑賞することができた。ま

た阿波之里の企画で佐野比呂志裸婦シリーズ油彩展が開かれたが、この紙面をかりて関係の皆様にご心からお礼を申しあげる次第である。中央展での活躍も例年をしのごものがあるが、特に日展で活躍の橋本正弘委員、黒崎志郎委員、二科展特選の居上真人委員らは印象に残る。協会員の今後ますますの活躍と伸展を祈念する。

さいごに四国放送（放美展）、徳島新聞社（県展）、並びに美術協会の皆様方のご発展を心から祈り、はじめのことばとする。

平成 7 年 3 月

県美術家協会会長

佐 野 比 呂 志

徳島県美術家協会規約

昭和23.9.12	規約制定
32.7.14	新規約制定
33.4.29	規約一部改正
42.4.23	〃
46.4.29	〃
47.5.29	〃
49.8.22	〃
52.7.23	〃
56.5.5	〃
58.6.5	〃
61.6.21	〃
平成4.6.27	〃
6.6.25	〃

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし、県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会
(ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長 副会長(2名)

理 事(若干名) 監 事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員は任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計事務の報告、役員を選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さら

に10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

部会長・委員(部会員数の3割以内)

部監事(2名)

役員は部総会で選出する。役員は任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計事務の報告、役員を選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり1,550円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,100円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッヂを選定(図案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~4名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫塑・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

平成5年度 事業報告

- (1) 総 会
 - 平成5年6月26日
 - 県郷土文化会館第8会議室
 - 平成4年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認。役員改選
 - 平成5年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
 - 平成6年3月5日 県展、放美展、県展50年記念誌等について
- (3) 第48回県美術展
 - 第1期 平成5年11月6日(土)～14日(日)ただし11月10日(水)
は休み 書道の630点展示
 - 第2期 平成5年11月16日(火)～21日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの631点展示
 - 第48回展受賞者表彰式
平成5年11月7日(日) 新聞放送会館 会議室
- (4) 第2回放美展
 - 平成5年4月28日(水)～5月2日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
425点展示
 - 受賞者表彰式
平成5年4月29日(木) 県郷土文化会館
- (5) 美術年報の発刊
 - 県展記録、各部門の歩み、会員名簿など
- (6) そ の 他
 - 第48回県展運営委員会・県展事務局員会議
(5. 5. 15、5. 9. 18、5. 12. 20)
 - 第48回県展運営委員会(6. 2. 19)
 - 県展50年記念誌編集委員会(5. 11. 27、6. 2. 19)
 - 第2回放美展運営委員会
(5. 4. 17、5. 5. 29、5. 12. 4、6. 1. 29)
 - 県芸術祭移動県展
牟岐会場(5. 11. 26～29)
穴吹会場(5. 12. 1～6)
鴨島会場(5. 12. 8～13)
- (7) 各種後援
 - 第17回全美展 (5. 4. 9～4. 12)
 - 福井章「イラストの旅・四季徳島」原画展 (5. 4. 9～4. 11)
 - 第8回荒井天鶴書展 (5. 4. 15～4. 18)

- 森浩 銀色の世界と仲間たち (5. 4. 23～4. 26)
- 第1回聖邨一門書作展 (5. 5. 3～5. 5)
- 第9回チャリティー田中双鶴書作展 (5. 5. 4～5. 10)
- 第16回写真真人「炎」作品展 (5. 5. 14～5. 16)
- 第36回成蹊書道会展 (5. 5. 14～5. 16)
- 第16回八紅展 (5. 6. 3～6. 6)
- 小坂奇石遺作展 (5. 7. 1～7. 5)
- 第48回新作日本画展 (5. 7. 9～7. 11)
- 尾崎幸代洋画個展 (5. 7. 15～7. 21)
- 第52回世代美術展 (5. 7. 15～7. 18)
- 第8回正峰会書展 (5. 7. 16～7. 18)
- 第6回阜玄書道会展 (5. 7. 16～7. 18)
- 武市善次郎油絵展 (5. 8. 5～8. 9)
- 第17回キスング展 (5. 8. 6～8. 8)
- 第11回双愛書道会作品展 (5. 9. 3～9. 5)
- うずしお曼荼羅 武内亨写真展 (5. 9. 11～9. 13)
- 第48回青美展 (5. 9. 23～9. 26)
- 第22回徳島雪心会書作展 (5. 9. 30～10. 3)
- 第23回直心会展 (5. 10. 1～10. 3)
- 清水亟悞油絵個展 (5. 10. 6～10. 11)
- 第23回東玄書道会展 (5. 10. 13～10. 15)
- 第5回睦月会書展 (5. 10. 15～10. 17)
- 第56回書芸院展 (5. 10. 23～10. 26)
- 第6回新浜写真クラブ写真展 (5. 11. 12～11. 14)
- 第37回成蹊書道会展 (5. 11. 12～11. 14)
- 第28回徳島清潮会書作展 (5. 11. 29～12. 2)
- 県美協デザイン部千支「戌」展 (5. 12. 1～12. 4)
- 第8回藍美展 (5. 12. 2～12. 5)
- 第19回克展 (5. 12. 4～12. 6)
- 第22回歳末チャリティー色紙・作品即売展 (5. 12. 10～12. 12)
- 第23回四国大学書道クラブ学外展 (5. 12. 17～12. 19)
- 第14回書研社展 (5. 12. 17～12. 19)
- 第20回桂鳴書道展 (6. 2. 11～2. 13)
- 美術文化第2回徳島グループ展 (6. 2. 15～2. 18)
- 第19回四国大学文学部書道コース 卒業制作展 (6. 2. 18～2. 20)
- チャリティー西南龍書作展 (6. 2. 25～2. 27)
- 第3回一書会書道展 (6. 3. 12～3. 14)
- 第24回ナルトびんぼけクラブ写真展 (6. 3. 19～3. 21)
- 第12回書道研究所書作展 (6. 3. 25～3. 27)

徳島県美術展開催運営要項

第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展（県展）と称し広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条 (主催団体)

本展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条 (開催運営の組織)

本展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会会長・副会長と県美術家協会の各部会から2名、県教委文化課から1名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社4名の合計23名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 県展の開催運営の基本事項について審議決定する。
- 2 審査員候補の推せん。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認。
- 5 その他

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部会から2名、県教委文化課1名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計18名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇などに関する準備、手配。
- 4 収支予算案の作成。
- 5 開会式、表彰式の準備。
- 6 広報PRに関すること。

7 その他下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から

1 一般公募作品のうち主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品(入選作品)及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

(1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。(ただし、年回の間が5年を経て、その間に特選・準特選の受賞のないときは失格)

◇次のものを無鑑査とする。

(1) 特選を連続3回得たもの。

(2) 年間を問わず特選を4回得たもの。(ただし、年回の間が5年を経て、その間に特選の受賞のないときは失格)

(3) 年回を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(ただし、年回の間が5年を経てその間に特選・準特選の受賞のないときは失格、特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)

(4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

(1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各分会から一定数の人数を推せんし、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する可能性があるが、原則として次の範囲内に止める。

部 門	区 分	特 選	準特選	特 別 賞	入 選
日 本 画		2	3	徳島県美術家協会会長賞	若干名
洋 画		3	5	徳 島 県 知 事 賞	〃
写 真		4	8	徳島県議会議長賞	〃
彫 刻		1	2	徳島県教育長賞	〃
美 術 工 芸		2	3	徳 島 市 長 賞	〃
書 道		6	13	徳島新聞社長賞	〃
デ ザ イン		2	3	四国放送社長賞	〃

※特別賞は各部門とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。

2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表 彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特 選……賞状、賞金5万円
- 2 準特選……賞状、賞金2万円
- 3 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

本展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ代及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

本展の支出経費は 事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、

2月に開く運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条 (出品料)

県展の出品料は次の通りとする。

- (イ) 美術家協会員は1点2,200円、2点目から1,100円とする。
- (ロ) 招待、無鑑査、特別出品者は1点2,200円とする。
- (ハ) 一般の方は1点3,300円、2点目から1,100円とする。

第12条 (入場料)

県展の入場料は次の通りとする。

一般大学生	前売り	500円	当日	600円
高校生	前売り	250円	当日	300円
小中生	前売り	150円	当日	200円

第13条 (附 則)

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日 一部改正

平成4年5月16日 一部改正

第49回県展記録

会期 (第1期) 平成6年11月9日(水) ~16日(水)
 (第2期) 平成6年11月18日(金) ~23日(水)
 会場 県郷土文化会館

日本画

〔審査員〕	中路 融人				
〔特別出品〕	荻野 行夫				
〔招待〕	長尾 弘子	村上 凌雪	田淵 冬湖	中川 健	
	矢野 秋溪	岡 英彦	土方るみ子	西野 和男	
〔無鑑査〕	土井 洋子				
〔賛助出品〕	篠原 三叢	森 薫苑	高田 瑞雪	長谷 寿	
	吉崎 進				
〔特選〕	藤村美津子	鶴 悦子			
〔準特選〕	高田 愛子	北島 節子	反田 卓		
〔入選〕	森見 喜美	橋本 隆雄	岩佐 宣之	秋元よし子	
	林 幸子	川原 光患	江上 豊	秦 照子	
	松野 寛枝	荒井 みき	森本 光	伊藤 晴子	
	野口 朋子	佐藤 晴子	酒巻 恵子	杉山 正子	
	原田 輝世	福田佳代子	江本美千代	米田 梨恵	
	明石 興子	西村美也子	上原 圭子	板東 美紀	
	三ツ本繁美	中西 芳雄	西口 光代	藤原 満代	
	板東 博美	富田 達子	柳田 一子	吉坂美智子	
	斎藤 久代				

洋画

〔審査員〕	馬越 陽子				
〔特別出品〕	佐野比呂志	永山 隆二	長井 公雄		
〔招待〕	清水 壺悞	川原 康孝	楠瀬 等	高橋 敬	
	立岩 巖	露口 敏幸	服部 裕	岡本 征二	
〔賛助出品〕	浅田 二郎	天野 節	大神 良代	岡 多美子	
	柏木 雅雄	河田 安市	黒崎 志郎	後藤田仁一	
	武市善次郎	津地 威汎	板東 俊一	榊田 務	
	松川 寛	岡田 守			

〔特選〕	林 由紀	平野 聖治	泉 修一	
〔準特選〕	服部 恵美	藤井 香世	曾我部 秀子	團 泰子
	前田 道代			
〔入選〕	井沢 忠昭	辻野 正廣	川原 万弥	鈴木 明雄
	神吉 廣純	島村 英之	蔵本 秀夫	西條 明彦
	大宮 和雄	南城ミツ子	乾 繁春	尾形 正二
	岡田 実	吉田 収二郎	中山 清一	元廣 俊子
	中山 律子	唐渡 覺	原田チエ子	下内 裕次
	米多比由美	水間 利生	岡田 克美	岡本 千恵
	田淵 浜子	島川 君子	木村 健	古林 幸子
	宇高 桂子	大西利津子	林 静代	井本ツヤ子
	三好 初子	大塚 政孜	桐島 豊子	河田 純
	浜尾みつこ	福良 哲子	岸 直次	笹田 興一
	騎馬 政美	宮本 俊介	越久 高照	真野 孝彦
	岡田 光男	市川 欣也	佐々木 超	鈴江美代子
	村上 哲史	藤本 晴子	島上 二郎	北 美智子
	大石 明健	近藤 清子	佐藤 敬子	後藤ユリ子
	三谷ミヤ子	鈴木 敬子	日出美佐江	三谷多美子
	玉田 秀子	藤田 倫子	吉田 実	増井 厚子
	谷崎 泰江	麻植 尊正	佐藤 昭子	吉岡 啓子
	青木 幸子	関 京子	松浦 節子	相良 安彦
	影山多恵子	吉永 房子	井上 高子	伊勢 浩章
	近藤 駿男	谷 佳子	岸本 花子	町田 美香
	平岡智恵子	宮井 一三	磯崎有紀美	堀江 千寿
	長戸 彩	赤羽 康夫	森山 幸恵	吉田 悦子
	浜田 益子	溝田 幸代	梶本 理紗	神戸 妙子
	大西 文代	田野 安子	山田健太郎	原田 昭義
	西山 和佳	香西 直子	西川 周三	森 直哉
	西川 敬子	林 伸也	大西 道夫	

写真

〔審査員〕	杵島 隆			
〔特別出品〕	福島 正仁			
〔招待〕	増田 清次	井上 光雄	木田 英之	西條 征二

	勝西 雅夫	藤井 梵	武内 亨	笹田 敏雄
	櫛淵 魁	酒井 博司	三好 和義	上野 照文
	森 賢一	橋本 圭祐	安長 剛	前浦 芳久
	荒井 賢治	林 敏彦		
〔無鑑査〕	増田 寿	井藤 光章	多田 晴美	
〔特選〕	前坂 祥文	林 久男	岡村 清	富永 章子
〔準特選〕	堀口 幸男	中野 建吉	古井 謙吉	岩崎 英昭
	大林 義治	柳本 正	船越 正文	藤本 宗子
〔入選〕	堀口 幸男(2)	溝淵 寛治	佐野 辰夫(2)	宮城 高士
	佐藤 考利(2)	納田 康雄	櫛淵 紳哉	中川 定典(3)
	中野 建吉(4)	古井 謙吉(2)	井上 翔(4)	清水 定七(2)
	長谷 昌男	毛利 次郎(2)	大津 勝治(6)	粟田 ふさえ(2)
	佐々木敏幸	田村 泰弘(5)	折野 理悦(2)	坂田 稔氏
	井上 憲治(2)	橘 信二郎	後藤 文男	岩本 忠幸
	大林 義治(2)	宮本 繁広	野藤 敏美(4)	野藤 みきよ(3)
	森住 博	高藤 敬堯(4)	梅本 貞範(3)	大和 健司(7)
	土橋 成行(6)	赤木 昭子(4)	海原 稔	原田 武二(3)
	関口つとむ(2)	平尾和寿夫(2)	宮本 幸治(2)	福田 源吉
	清水 宗保	清水エミ子(2)	米沢 正博	さとう元雪
	柳本 正(2)	国見 彰一	藤井 秀昭	岡村 清(3)
	美馬 弘典	木下 昇	宮川 茂	割石晴二郎
	柴田敬二郎(2)	新居見萬幸	吉田 弘(3)	塚原 真澄(3)
	川端 武夫(4)	尾崎 利男	竹内 勝	板東 泰雄
	中辻 末光	武沢 一成	楠本 喜巳(7)	谷 賢太郎
	姫田 慎治	宮野 菁伍(2)	船越 正文(4)	岡田 好文
	松富 敏文	富永 仁一(3)	大野 武(9)	大野 泰子
	高田 為一	河口 勝次	森内 昭雄(2)	笠井 孝純
	藤本 宗子(2)	大西 啓子(2)	島田 宏子	上杉 大一
	割石 晴美	斎藤 剛	久保 英樹(8)	中山 公司
	板東よしお	山根 一夫(2)	稲井 芳男	坂東 重信(3)
	藤島 福生	坂東 鶴雄	坂東 進(3)	加藤 芳久

彫 刻

〔審査員〕 綿引 道郎

- 〔特別出品〕 河崎 良行
- 〔招待〕 佐藤 隆 濱口 恵 井下 俊作 鎌田 邦宏
松永 勉
- 〔賛助出品〕 上田 久利
- 〔特選〕 蒔田 寿
- 〔準特選〕 阿部 佳代 居上 真人
- 〔入選〕 美馬 智子 東 光司 笠山 憲子 新田 陽史
坂東 七 笠岡奈緒美 原 賢一 清水 愛恵
井内 大 小林 正則 川真田武夫 西岡 由恵
四宮 達司
橋本 正幸 (共同)

美術工芸

- 〔審査員〕 山下 恒雄
- 〔特別出品〕 山上 馨
- 〔招待〕 新居 猛 高橋 勇 森 昌男 森 浩
七条猪三郎 多智花佐代子 松下 雄介 松下 慶一
森 賢一 橋 恵
- 〔賛助出品〕 村上 正典 中川 存
- 〔特選〕 三宅 真弓 平井 恵子
- 〔準特選〕 丸居 哲雄 犬伏 絢 天野 和子
- 〔入選〕 川真田 弘 松山 豊 中川 音春 上田ミノル
永山 昭一 高田 竹子 山本 敏子 山本二三子
近藤 鶴代 吉田 満子 大田 裕子 佐治 孝
麦倉 紀子 佐々木明乗 徳川 道泰 富田ちえ子
宮本 孝(2) 井俊 善朗 宇山 裕子 井村アイ子
松岡 正仁 山本 和子 鴨川美佐子 新居美紗子
島田 弘美 杉原 素子 陶久 敏郎 出口 裕子
野村 裕子 木内紀久乃 佐藤 芳江 北島 洋史
多田 清明 田村 祐子 四十宮年代 隅田 良佑
新見 清香(2) 宮本 晴美 吉成 亀雄 田尾 正子
矢野 裕志 榎原 道雄 福岡 雅子 堺 都美子
龍木 秀子 鷗山 早苗 清澄 和也 小山美智子
寒川 治雄 藤原 弘代 榎原フサコ 後藤 静雄

三宅 真弓	小林 昌子	桑原 英香	藤本善太郎
森 明治(2)	三橋 一世	前野 亮治	濱田 克美
住友 良英	阿部 俊江	吉田 晃子	吉田 敏明
福島 智世	野田 理人	青木 房江	戸田 智
斎藤 和彦	日岡 健二(2)	金 大謙	藤井 哲信
森 悦光(2)	落久保重利	阿部 一雄	角田美富根
是安 京子(2)	大肚 潤子	中内 愛也(2)	網木 麻雄(2)

書 道

〔審査員〕	鈴木 桐華	西本 支星	金子 聰松	
〔特別出品〕	荒井 天鶴	田中 双鶴	田中 栢翠	新居 藍州
〔招待〕	久保 幽香	讚岐 泰泉	宮井 青雨	長原 阜鵬
	高原 清泉	西 南龍	成尾 莊秀	渡辺 草石
	原田 霄月	芝原 醒鶴	前川 古舟	清水 桂月
	美馬幾美賀	春藤 大耿	岸 潮風	中谷 史子
	長谷 美峰	勝瀬 景流	川上 虹泉	三間 好鷺
	近藤 静苑	上田 溪水	日下 溪翠	岡島 順子
	荒井 彭仙	竹田 和代	山口 華城	藤若 美風
	武市 鳴雲	中尾 勝子	佐藤 真堂	富久 鳴泉
	永松 春苑	島田 小園	吉岡 景鵬	坂本 霄風
	浜 佳香			
〔無鑑査〕	隅田 英二	松本 清香	薄田 玲泉	多田 清芳
〔贊助出品〕	東 南光			
〔特選〕	江本 良江	高田 孝子	能仁佳予子	三浦富美代
	山口 文子	玉城佳代子		
〔準特選〕	鳩成 広美	米澤 司子	鈴木 正友	南 勝雄
	東 弥生	増田 愛子	山中 真紀	近藤真千子
	吉田 容子	高岡 清	板東タマエ	岩本 雅三
	林 浩一			
〔入選〕				

★ 漢字の部

〔前期〕	酒井やすえ	高田由里子	谷 貴美子	矢野 敏子
	高田 嘉代	音木 博美	上野喜久子	沖田 章代

奥本	益世	清田	千江子	佐々木	陽子	坂東	武
藤村	恭子	大下	美和	山尾	素文	元木	英文
須見	智香	佐藤	博子	真鍋	一美	田中	留美
亀石	二三	川村	真澄	金子	博明	片岡	友恵
香川	紫保	竹下	智子	奥	小風	竹中	郁子
吉田	郁世	伊丹	純子	村沢	健太郎	戸出	浩子
吉田	益義	吉田	幸代	河内	英見	品川	亜沙美
西野	道夫	吉川	登志子	古川	恵巳	生田	茂子
荒井	佳代	中川	富量	花本	ふくみ	藤田	喜美代
高井	初子	松永	浩子	粟飯	原優子	蔭山	秋実
大櫛	宏子	志尾	多磨子	井筒	ツルコ	住友	敬明
柴田	勝	坂東	玲子	真鍋	洋子	有井	清
海原	進	小西	貴美子	以西	寛敬	河野	多美子
駒田	澄子	八木	澄江	橋本	康喜	南	知枝
春藤	勝弘	丸岡	真弓	渡辺	カネ子	矢野	美由紀
山下	弥栄子	森	孝司	酒井	優子	赤松	茂幸
北島	佳美	鈴木	エリ子	黒橋	由加里	富永	泰寿子
扶川	治子	山地	靖子	黒田	美穂	原	貞子
坂東	济子	吉本	和代	洲崎	忠雄	山下	美佐子
高尾	泉	小津	美奈子	日野	庸子	杉本	妙子
片山	保						

(後 期)

魚井	勝夫	田村	栄子	山中	佳子	高原	幸美
相原	美香	阿部	千明	宇山	和治	奥野	信夫
加藤	玲子	小松	美佳	武田	知子	浜田	真由里
細堀	恵美	鎌村	明子	安田	ひろ子	蔭尾	勝子
吉平	順子	井村	信子	黒田	ツルエ	西谷	香峰
久次	米公代	椎野	博	吉成	真由美	井村	美帆
日下	弘美	前田	ひとみ	浅川	陽子	酒井	しず
松下	守	古田	みさき	久保	田みき	細川	美佳
岸上	早苗	田村	実	藤野	超	大塚	唯士
田中	育子	豊田	典子	田村	栄子	吉成	啓一郎
中川	博雅	豊浦	佳子	馬淵	直枝	谷口	統雄
長江	達造	九十九	知美	田中	達夫	高井	静代
西岡	詩朗	行本	圭子	富永	トセ子	酒井	百合子

笠松八重子	小濱 勝美	近藤 鶴代	富山 雅美
岡島 倍子	山本 数馬	松浦 幸子	黒田 早苗
吉田美乃里	佐藤 啓子	岡田 文代	板東 一男
春藤 秀子	坂東佐和子	弘田 敏章	井上 浩子
玉井美知代	折上 和美	馬居美智恵	菱崎 信義
林 亜希子	高原 智世	田上 洋子	山城美三子
山本キヨミ	松下 寅雄	福永久美子	速川 孝恵
秦 照子	久積 晃	大下 富江	宮田久美子
坂本 由紀	桑田 次雄	横山 弘美	村部 幸子
市原 典子			

★ 仮名の部

(前期)	伊藤 秀子	高島 正雄	井川 敏子	坂野 雅子
	矢野 一代	第十 茂子	佐藤 松子	川人 皓
	湊 紀子	西宇 明美	筒井 利江	宮守 とみ
	近藤千恵子	若木 恭子	吉田 有子	山本 定子
	田中 久恵	大久保佳余子	古泉美代子	山根 洋子
	亀石 二三	増田 恵子	前田 朋美	松本 敦子
	草苺 明美	清水 嘉子	金村 知恵	日下 弘美
	真鍋 典子	辛島 和美	木村貴美子	富永 恵以
	吉成真由美	加村喜美子	阿部 公恵	田本 佳子
	仁木 亜矢	山本 晶子	横田 典子	上田 晋
	阿部 豊彦	竹中喜代子	中野 春江	桑田 満里子
	武市 勝恵	米田 重子	浅野 義雄	中谷つや子
	藤野 陽子	久次米公代	岡田 妙子	炭谷 嘉子
	楠本 倫子	久住 律子	瀬藤 豊子	西 直子
	足達 玉美	坂東 準子	溝渕久美子	田村富士子
	井内 光子	杉野 智美	富永 重行	向井 京子
	上田 久恵	皆谷 露子	赤川久美子	佐川 公子
	森 裕美子	宮本 敏夫	新納 房子	武田 詩夜
	大島 弘子	山本 絵里	高田 光	丸岡 智子
	吉岡 栄子	阿瀬川寛司	福田世津子	三津 栄子
	由利 里子	下村 清子	宇山 安俊	松永 裕子
	一宮 明美	久次米智子	吉岡 貴代	甲谷 慶子
	林 孝枝	木田 嘉子	川口 珠枝	益田 昌子

	徳山 正光	森 貴美子	尾田 艶子	津田 尊子
	小西 敬子	西村 泰子	佐藤美智代	上田 久子
	篠原 加奈			
(後 期)	後藤ミヨ子	樫原 孝子	藤原 育代	板東 幸子
	板東 晃代	三浦由城子	姫野 君子	平野 幸子
	山中 佳子	鶴澤 静佳	中村みちえ	宮城 明子
	横井三知代	笠原小夜子	高田 嘉代	加藤かつ子
	稲垣 幸	妹尾 敏子	西谷 香峰	辻 尚子
	中村 絢子	西宮由希子	南 香織	尾崎 水香
	稲井 知子	佐伯 実希	清村 宗子	四宮 庸子
	岩崎さつき	石山亜由美	清水 晴絵	青木 祐子
	安藤 一美	崎野亜希子	谷口 百世	八木 祐子
	吉岡 理枝	田岡 有紀	向井 境子	西浦 智頼
	株本マサノ	出口末喜子	稲井 国雄	古郷 弘江
	第十 佳夏	大久保愛子	井内 愛	魚井イチエ
	吉本 道子	山西 淳子	浜田千鶴子	山本 恵子
	播磨 恭子	吉田 幸代	原田 尚文	藤本満里子
	阿部 博子	真鍋 洋子	河野紀代子	山本 美幸
	井上 彰夫	祢木真佐子	鶴本 彰子	加藤 昭子
	椎野 国子	水口 久枝	湊 泰子	倉本 節子
	繁崎登美子	根津不美子	福良美代子	西村 徳栄
	曾我部富美	斎藤 弥生	田上貴実子	笠井 宣江
	広島 章子	坂口貴美子	中西 甫子	小出 圭子
	木村 弘子	西岡 咲子	井上 まり	森 弥生
	竹内 英子	中田 幸子	宮崎 早苗	市橋ヒデコ
	遠藤 由子	岡島 公子	折部 恵美	大西 順子
	近藤マサエ	河野 静江	重本 忠雄	岡本 美紀
	宇津 清子	向井 幸子	笹田 真里	

★近代詩文の部

(前 期)	長原 七与	瀬戸内美代子	五孝 春美	磯 富美代
	大石 正	大島 清子	大西千鶴子	小川佐江子
	梯 周女	加島 俊彦	河野 富子	川又 敏香
	桑村 清	高力 浩子	幸田 康代	佐原 武子
	柴田 公代	高瀬 善郎	谷本 清子	田淵 洋子

東條香津代	内藤ますみ	長野 裕子	春名 完二
福本 茂	村尾 慶子	山崎ひとみ	吉田さい子
石田 久子	武田 淳子	藤本 優子	三澤 妙子
米津 裕美	大西 英徳	瀬部 洋子	豊村 啓輔
播磨美智子	福田 昭子	船崎 友子	山口 信子
米本 元枝	青柳ひでの	魚井 委子	大西ひとみ
折田 浩子	加宮 恭子	岸 緑	日下登美子
小坂ハナエ	佐藤 正江	桜田 貴子	高橋美知江
武樋 清子	富川 博之	仁木志毛江	野田 洋子
春川 登	平出 すえ	福永 培子	古川悠紀子
丸岡 良子	宮田 昭二	横谷千代美	吉川 尚子
吉田シゲ子	若林 節子		
(後 期)	大井多鶴子	柳川 具子	市原 泰江
	大久保利江	大西 英子	岡田 保子
	笠井 鎮子	川下小夜子	川端喜美子
	久米 安弥	児玉 幸子	坂尾 俊一
	清水 三枝	竹井 澄子	玉城 豪
	鳥井佐知子	中島 和子	沼田 裕司
	藤原 松枝	森本知世子	和田 悦代
	江原美津子	谷口 陽子	正木 光枝
	上原三千代	楠 恵利子	玉城 安和
	引地 美貴	藤井康三郎	水落知英子
	渡辺 亜希	赤星美津子	大崎 辰雄
	勝瀬嘉壽子	河内 育美	木田 史子
	佐藤 恵子	阪口 光子	下野 順子
	竹川 秀穂	富永美知子	野田 富子
	平岡 郁子	福田 和子	藤井フサエ
	丸田 三恵	森本 陽子	吉岡 詔子
	吉本 重子	和田富美子	
			内山 真弓
			小野 幸久
			清重 和雄
			柴田 明
			出原とし子
			平野 恵理
			野本 寛之
			吉坂希実子
			能仁 恵子
			吉本真理子
			大野 秀子
			栗山 弘子
			武市三奈子
			浜口 敏子
			松久 裕子
			吉田佐知子

★ 前 衛 の 部

(前 期)	伊丹 明美	田中 一夫	枡富 年子	村田 泰輝
	阿川 英子	林 秀樹	永井 厚子	福永 光志
	山本 恵美	大胡恵里香	浜川 美沙	佐藤由紀代
	中川 博雅			

(後 期)	豊茂 安江	芝 憲彦	南本 文子	柏尾美恵子
	稲江 司子	新居 勲	池田記代子	永濱 由美
	中川 和幸	山本 晶子	名西 博章	中川 富量

デザイン

[審査員]	青葉 益輝			
[招待]	浅野 昌哉	斎藤 繁次		
[無鑑査]	坂野美恵子			
[賛助出品]	坂本三千一			
[特選]	野間口志保	藤本 孝明		
[準特選]	敷島のり子	芦尾 節子	川崎 孝志	
[入選]	野口 幾代	原田 純子	斎藤 剛(3)	吉成 敏史(2)
	美鳥 悦子	四十宮隆志(3)	山下真由美(2)	北島 豊嗣
	大山 奈里	佐野めぐみ	笠井 万里	泊 奈美
	大久保ゆかり	森久 知子	増岡 美保(2)	天野 美砂
	石田 武	敷島のり子(2)	須藤 政代	岩朝由希子
	小泉まい子	浅野 敦司(2)	岩崎 順子	吉本たみこ
	北尾 幸子	溝淵 良枝	岡田 賢弘	天羽 恵子
	山田 智恵(2)	原田 雅裕	笹尾 晶代	千崎 太郎
	達見かおる	竹内 優子(2)	背川 光恵	斎藤志津子(2)
	川崎 孝志	藤本 孝明	重清 嘉宏(2)	野口 賀代
	寺本 礼子	今村 美季	松田 真澄	清水 寿美
	小松 美香	木村 優子(3)	野間口志保	大東 浩司

徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	(野 間 仁 根 家 永 三 郎)	委 員	
2	大 栗 旌 仟	野 間 仁 根	上 田 備 山	(太 田 三 郎 坂 東 文 夫)
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	(太 田 三 郎 坂 東 内 文 夫)
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5	上 村 松 纂	田 村 孝之助	小 野 由 行	(太 田 三 郎 坂 東 文 夫)
6	西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 魁 太	同 上	(太 田 三 郎 坂 東 文 夫)
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	(鈴 木 信太郎 野 間 仁 根)	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	(辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫)
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	菅 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周 三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂

展 審 査 員 一 覧

美術工芸	書 道	デ ザ イ ン
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
同 上	同 上	
同 上	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織田子青(漢)・出口草露(仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑 (47回か ら彫刻)
23	松岡政信	山下大五郎	岩宮武二	井上武吉
24	山崎忠明	大沢昌助	棚橋紫水	菊池一雄
25	奥村厚一	斉藤真成	同上	原武典
26	梶喜一	島村三七雄	同上	掛井五郎
27	上原卓	高田誠	伊藤知己	松村外次郎
28	黒光茂樹	中間冊夫	岩宮武二	小島広志
29	松岡政信	島田章三	同上	保田春彦
30	黒光茂樹	田中岑	同上	篠崎明雄
31	河合健二	田中忠雄	同上	江口週
32	長谷川青澄	山口長男	(岩宮武二) 伊藤宮藤武二 岩宮山庄太郎	一色邦彦
33	松岡政信	吉井忠	(岩宮武二) 岩宮山庄太郎	柳原義達
34	山岸純	小西保文	岩宮武二	清水九兵衛
35	樋笠数慶	荻太郎	同上	桜井祐一
36	坂口麻沙子	吉井淳二	同上	土谷武
37	下田義寛	野見山眺治	同上	山本正道
38	同上	須田寿	高田誠三	清水九兵衛
39	同上	斉藤真一	同上	城田孝一郎
40	下保昭	津高和一	(岩宮武二) 高宮田武誠	清水良治
41	橋田二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井敏夫
42	松本哲男	国領經郎	岩宮武二	木津一夫
43	山岸純	利根山光人	三木淳	橋本省
44	平川敏夫	赤穴宏	高田誠三	山崎猛
45	福井爽人	桜井寛	三木淳	土谷武
46	岩沢重夫	大森朔衛	三木淳	峯田敏郎
47	穂田一稗	谷本重義	立木義浩	小島弘
48	田淵俊夫	大沼映夫	杵島隆	建島覚造
49	中路融人	馬越陽子	杵島隆	綿引道郎

美術工芸	書道	デザイン
槻尾宗一	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
山脇洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	
藤本能道	同上	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角顕雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	同上	田中一光
浅野陽	同上	奥野英雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讚岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄
山脇洋二	同上	永井一正
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讚岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊蔵憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見錦龍・森本妙子・加藤大碩	松永真
山下恒雄	近藤撰南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	勝井三雄
大西長利	安原阜雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聰松	青葉益輝

第49回県美術展出品・入選等状況

部 門		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
区 分									
出 品 数		63	315	994	24	155	1,337	134	3,022
人 数		59	218	196	21	105	766	91	1,456
入 選	率	60.3%	35.2%	20.8%	66.6%	60.0%	41.0%	49.3%	36.0%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特 選	2	3	4	1	2	6	2	20
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選	33	103	195	13	88	537	61	1,030
	計	38	111	207	16	93	556	66	1,087
落 選	率	39.7%	64.8%	79.2%	33.3%	34.0%	58.4%	50.7%	64.0%
	落 選	25	204	787	8	62	781	68	1,935
招 待 等	招 待	8	8	18	5	10	37	2	88
	無鑑査	1		3			4	1	9
	特 別 出 品	1	3	1	1	1	4		11
	賛 出 助 品	5	14		1	2	1	1	24
	計	15	25	22	7	13	46	4	132
展 示 数		53	136	229	23	106	602	70	1,219

注：特別賞は特選の内数である。

第3回放美展記録

会期 平成6年4月27日(水)～5月1日(日)
会場 県郷土文化会館

日本画

〔審査員〕	中川 健	森 萬苑	西野 和男		
〔理事・運営委員〕	荻野 行夫				
〔運営委員〕	吉崎 進	長谷 壽			
〔放美賞〕	岩瀬 洋子				
〔優秀賞〕	松野 寛枝	森本 光			
〔入選〕	杉山 正子	白河 邦子	西村美也子	中西 勢一	
	南 清子	林 幸子	江上 豊	船戸 春子	
	吉坂 保紀	鶴 悦子	高田 愛子	吉坂美智子	
	秦 照苑	柳田 一子	高橋タケ子	川原 光恵	
	斎藤 春子	富田 達子	西口 光代	橋本 隆雄	
	川人めぐみ				

洋画

〔審査員〕	武市善次郎	高橋 敬	立岩 巖		
〔美協会長〕	佐野比呂志				
〔理事・運営委員〕	永山 隆二	川原 康孝			
〔理事〕	今田 史男				
〔放美賞〕	玉田 秀子				
〔優秀賞〕	桐島 豊子	三谷ミヤ子	岡田 光男	佐々木 超	
	関 京子	二條 均	南城ミツ子	島川 君子	
〔入選〕	兼松 英徳	井沢 忠昭	松永三恵子	正木 房子	
	長田 武夫	越久 高照	井藤 茂雄	伊勢 浩章	
	杉本 祥子	吉田 実	秋月ヒサヨ	河田 純	
	村田 恭一	吉永 房子	大西 道夫	高田 幸子	
	谷口 節	岡田 克美	井上 敏子	宮本 正義	
	田中 康子	林 康太郎	東山 賀恵	西川 孝雄	
	森 裕二郎	真野 孝彦	前田 保司	浜田 益子	
	湯岑エミ子	中本真由美	青木 幸子	大西 文代	
	佐藤 敬子	江戸谷信夫	長尾賀代子	團 泰子	

福良 哲子	井上 高子	平尾マサミ	乾 繁春
浅山 久子	木下 和江	宮井 一三	新居千鶴子
麻 敬子	福富 正二	古林 幸子	河本多恵子
田野 安子	生田 孝夫	林 由紀	元廣 俊子
藤川佐由美	長戸 彩	北 美智子	佐藤 昭子
佐野みどり	岸 直次	曾我部秀子	西條 明彦
藤井 輝美			

写 真

〔審査員〕	楠 洌 魏	井上 光雄	安長 剛	
〔美協顧問〕	福島 正仁			
〔理事・運営委員〕	西條 征二			
〔理事〕	酒井 博司	荒井 賢治		
〔放美賞〕	赤木 昭子			
〔優秀賞〕	妹尾 早苗	佐治 利弘	前坂 祥文	河田 清
	折野 理悦	柳本 正	原井 裕夫	井上 憲治
	内田 忠秋	井藤 光章		
〔入 選〕	尾浦 元彦	佐野 辰夫(2)	坂東 進	清田比呂志
	三宅 利道	さとう元雪	富永 幸子	長山 威男
	割石晴二郎	藤田 寛	佐藤 義彦	後藤 文雄(2)
	藤本 道正(3)	前坂 定男(2)	佐治 孝(2)	古井 謙吉(2)
	板東 敏春	清瀬由紀子	姫田 慎治	河口 勝次
	清水 定七	掛口 耕作	海原 稔	谷 賢太郎
	平野 聖治	原田 武二	岡田 泰秀	石田 良材
	森住 博(2)	猪子 啓治	溝渕 寛治	鮎川日出一(2)
	中山 公司(2)	梅久 匠	柳本 正(2)	妹尾 早苗
	川端 武夫	小林 保子(2)	岡村 清	堀口 幸男(3)
	増田 寿(2)	中野 昭子(2)	芽形 憚明	原井 裕夫
	平賀俊次郎	佐野 始志	丸岡 節子	宮崎 行弘(2)
	大和 健司	井上 憲治	河田 清	多留見敏男
	毛利 次郎(2)	折野 理悦	坂東智代子	宮野 菁伍(2)
	柴田敬二郎(3)	森川 浩司(2)	潮 満寿子	佐藤 考利(2)
	桑村 直政(2)	岡田 好文	吉田 弘	大石 峯雄
	坂東 進	中川 定典(3)	野藤みきよ	大西 啓子

森 賢一	八木 宏明	田村 泰弘	清水 宗保(2)
川崎 新	宮本 好美	美田佐喜子	赤木 昭子
佐々木敏幸	梅本 貞範(2)	杉本 福(2)	土橋 成幸(2)
正満 恭子	野藤 敏美	松富 敏文	宮本 幸治(3)
野藤みきよ(2)	国見 良幸	大西 啓子	

彫 刻

〔審査員〕	井下 俊作			
〔美協副会長〕	河崎 良行			
〔理事〕	鎌田 邦宏			
〔放美賞〕	蒔田 寿			
〔優秀賞〕	加藤美津子	原 賢一		
〔入選〕	矢野 雄也(2)	大山 泰加	河合 央江	吉見 俊介
	宮田 友弥	沢井 良昭	森山 幸恵	堤 志乃
	東 光司(2)	堀江 千寿	大久保ゆかり	笹岡奈緒美
	坂東 美紀	西岡 由恵	西岡 志穂	新田 陽史
	加藤美津子	吉田 悦子	坂東 七	馬詰 誓助
	宮本 享佳	笠山 憲子	笠井 正彦	平岡千恵子

美術工芸

〔審査員〕	山上 馨	森 昌男	松下 雄介	
〔理事〕	森 浩			
〔運営委員〕	多智花佐代子	橋 恵		
〔放美賞〕	吉田 敏明			
〔優秀賞〕	杉原 素子	森 明治	正木 和夫	金磯 秀樹
〔入選〕	田岡 一郎	藤井 利夫	中川 音春(2)	川内 雅代
	西川 和美	久次米文夫	小山美智子	坂本富美子
	環 定	湯浅カツエ(2)	木内紀久乃	工藤 英幸
	森本 明子	檜原 道雄(2)	近藤 賢二	高田 竹子
	隅田 良祐	近藤 鶴代	檜原フサコ	中西 祥弘
	上田ミノル	鶴山 早苗	平野仁太郎	大島リツコ
	森 克江	綱木 麻雄	宮本 晴美	竹内寿和子

川真田泰裕	井村アイ子	寒川 治雄	矢野 祐志
井上由記子	太田 裕子	吉田 晃子	山田 実
近 陶陽	松山 豊	山野 英子	楠 正陶
北島 洋史	高橋 真帆	野 山人	新居美紗子
田中 美紀	陶久 敏郎	山脇 妙子	森田 幸恵
服部 圀彦	久米 春江	楠 博子	榎本夫美子

書 道

〔審査員〕	田中 双鶴	渡辺 草石	荒井 彭仙	
〔美協副会長〕	荒井 天鶴			
〔理事・運営委員〕	新居 藍州			
〔理事〕	上田 溪水	久保 幽香	田中 栢翠	
〔運営委員〕	田村 昇鶴	玉城 乾香		
〔放美賞〕	近藤 静苑			
〔優秀賞〕	原田 和明	竹田 和代	清水 嘉子	中尾 勝子
	川村 真澄	桑村 清		
〔入 選〕	藤永 真里	笠井 民子	矢本 妙子	福島 由佳
	西村 徳栄	豊田財康子	山本 恵子	福田世津子
	筒井 利江	吉田美重子	吉本 道子	四宮 庸子
	由利 里子	山本 裕子	日下 弘美	洲崎 忠雄
	西谷 公子	石山亜由美	中西 甫子	市原 典子
	辛島 和美	高田由里子	須藤 和子	谷 隆恵
	加藤香都子	武田 淳子	松本 敦子	足達 玉美
	船崎 友子	香川 紫保	田中 久恵	玉城 安和
	前田 朋美	木村 弘子	谷口 陽子	河内 英見
	木村貴美子	坂尾 俊一	田岡 恵	近藤美由紀
	川端喜美子	細堀 恵美	三津 栄子	須原 理恵
	真鍋 典子	原田 尚鳳	炭谷 嘉子	原田 味佳
	山中 真紀	西宮由希子	宮永 和美	小川 満子
	南 香織	古田みさき	稲垣 幸	塚本 京子
	大塚 唯士	播磨 恭子	崎野亜希子	小出 圭子
	笠井 宣江	横田 典子	藤本満里子	岡島 順子
	大浦友規子	草苺 明美	高橋 武子	逢坂小由里

内田真智子	妹尾 敏子	細川 道子	大西 千鶴
下村 清子	小松 久恵	吉本真理子	久住 律子
笹田 和美	吉坂希実子	村尾 慶子	東條香津代
池側 恵子	水落智英子	川又 晃容	田村 典子
藤原 松枝	川下 芳婉	徳永 逸夫	沼田 裕司
加島 俊彦	薮 品子	中島 和子	梯 周女
古郷 弘江	鳥井佐知子	大石 正	

デザイン

〔審査員〕	斎藤 敏次	田中 一郎	坂野美恵子	
〔理事・運営委員〕	坂本三千一			
〔理事〕	福井 章			
〔運営委員〕	浅野 昌哉			
〔放美賞〕	天野 美砂			
〔優秀賞〕	川崎 孝志	大東 浩司	重清 嘉宏	美鳥 悦子
〔入選〕	酒卷 和弘	高岡 篤史(3)	浅野 敦司(2)	天野 美砂
	一宮 伸匡	山下真由美	堀淵 春美	増岡 美保
	鳥野 龍一(2)	林 昭吾	敷島のり子(2)	大山 奈里
	松田 真澄(2)	海部 美紀	坂東 樹里	森久 知子
	須藤奈緒美	木村 優子	伊内 崇	福井 美穂
	今村 美季	佐野めぐみ	北島 豊嗣(2)	小泉まい子
	福田 陽子	福島 康仁	美鳥 悦子	金尾 春史(2)
	大東 浩司	横関由美子	重清 嘉宏	石田 武
	山田 愛	才田 敦子	鈴江 和美	筒井 万貴
	田中 美紀	天真 牧子	千葉 智子	

各部記録

日 本 画 部

部 会 長 荻 野 行 夫

年 間 展 望

夏季には久しぶりの日展徳島展が開催され中央の新しい感覚や着想の作品群にふれお互いに勉強させてもらった。

こうした機会に会期中回を重ねて展示作品に直面して見ることで作家の狙い、構想、下塗りから仕上げに至る配色と描法の特徴など掘り下げた内面探究で納得のいく鑑賞が得られたかどうか、個々の積極性にもよるかと思われるが、こうしたことが秋の県展に反映されたかどうか楽しみにして県展搬入日を待ったものである。その成果は確かに出品作品の上でうかがえたような感じがしている。更に前進した製作を待ちたいものである。

近年では県展が終わると同時に翌年の制作構想にかかり、およそ一か年がかりで制作に挑む人達も少なくない現況とあって個々の制作意欲は年ごとに高まりつつあることを思うと非常にたのしい限りであり平成7年度の県展50周年記念展に大きな期待を寄せているものである。

◎第3回放美展（4/27～5/1）県郷土文化会館

第3回を迎え、放美展も定着しつつあるが、日本画部門においては出品点数が昨年より6点減り、少し寂しさを感じた。

出品された作品はそれぞれに思いをこめた力作がそろい、審査には慎重さを強いられた。賞を決めるにあたって、放美展の趣旨である新人の発掘という観点を大事にし、なおかつ作品の完成度から見ると岩瀬洋子の「祈り」は文句なしに選ばれ、放美賞と決まった。ただ白っぽい色でまとめるについては、いろいろ方法もあるので、今後の作品にそのあり方を聞きたいと思う。松野寛枝「冬の詩」森本光「窓辺」の二作品が優秀賞となった。両作品とも荒さはあるが、それぞれに違った感性のういういしさがあり、今後に期待が持てる。選にもれた作品にも魅力ある作品が多々あった。くじけずに制作を続けてほしいと思う。

（審査評 中川 健、森 篤苑、西野和男）（応募点数34点、入賞3点、入選21点）

◎第49回新作日本画展（7/1～7/3）県郷土文化会館

部会の行事としているこの新作展は県内日本画作家の研鑽成果を発表し相互の交流と日本画及び墨彩画の普及振興をはかる目的で毎年実施してきたが、今回展も多数の出品参加を頂いて開催が出来ました。また愛好者の皆さん方で例年のように会期中一千人に近い入場者があり盛況な部会行事を終えることが出来ました。（出品点数68点）

新作大賞のほか優秀作品は次の通りで14点に対し最終日には会場で表彰式を行った。

（新作大賞）「鉄線花」中村百枝、「夕映えの鶯敷」秦 照苑

（新 作 賞）「梅花」久保脇祥雲、「八千代椿」吉坂美智子、「春空」高橋貞順

「秋日」濱口芳春、「溪谷」坂本翠雨、「高越山冠雪」高部恒香

(佳 作) 「風にゆる」三木義博、「冬の華」永田爽香、「溪流」原田喜佐子
「静寂」村澤久豊、「朝焼け足摺岬」市川義溪、「早春の庭」近藤恵美子

◎第49回県美術展(第2期 11/18~11/23) 県郷土文化会館

審査には日展評議員の中路融人先生にお願いした。

審査後の結果、先生の総評を再度ここに載せておきたい。

人気作家の垂流でなく、全体に素直な作品が多かったのが気持ち良かった。作家不在の絵は魅力がないし、絵をかく意味もない。作家の思いや願いが伝わってくるかどうか、心に響いてくるかどうかで審査した。賞候補に残した十一、二点の作品はいずれも大作で、最高水準にあった。さらに一段上のレベルを目指すなら素直さを土台に自分を磨き、描きたいものを強力に出せる力を養ってもらいたい。

特別賞の藤村美津子「哀歌」こういう題材はともすれば人形の形にとらわれたり、背景と溶け合わなかったりで難しい。この作品は背景の色の塗り方に工夫があるので人形との一体感が生まれ、人形に寄せる作者の心情が伝わってくる。構図もよく、堂々たる作品だ。

特選の鶴 悦子「廃屋に咲く」は一見弱いように見えるが、技術を超えた気持ちでかいている。コスモスに出会った素直な喜びが伸びやかに表現されている。ほのぼのとして、ふくよかな情感がよく出ている。

準特選の高田愛子「春(収穫)」は玉ねぎの収穫風景を描いて抜群にうまい。それだけにテクニックに頼り過ぎ、驚きや感動が弱まった。構図を絞り込む必要がある。

準特選の北島節子「生」は絵の具の使い方、色の出し方がうまい。手前に枯れた花、バックに建物を持ってくるのはよくある手で、もうひと押し感動がほしい。

同じく反田 卓「寂光」は技術がよく力作。ただ木漏れ日の表現は離しく、泰西名画のように古く見えてしまう。もっと若さや生き生きとした鮮度がほしい。

(応募点数63点 入賞5点 入選33点)

入選者の氏名は前頁の第49回県展の記録の欄に掲載済につき省略します。

<会員の消息>

3月には第34回日本南画院展にて村上凌雪氏が読売テレビ賞を受賞されている。また4月には第47回京都市美術展に岡 英彦氏が「五月の雨」(委嘱出品)を出品された。次に7月長尾弘子氏が郵政省のふるさと切手シリーズへ「阿波踊り」の原画を制作され8月1日発売となり徳島中央郵便局では長尾氏を招かれ、さまざまな記念イベントが開かれた。毎年10月に府県持ち回りで文化庁が実施されている、第9回国民文化祭みえ94(三重県)に出品を続けてきた鶴 悦子氏が今回で7回目の出品となり、「下萌」で秀作賞に選ばれている。同月には第26回日展で橋本正弘氏が「牛」で19回目の入選を果たされている。制作には随分ご苦心もあると拝察するが、氏のこのたびの制作心情では、こう述べられてある。――「牛」ここ五、六年題材には身近にあるものから、とりあげることが続いています。ことしの作品「牛」も昨年に続いての連作、日本画のもつ平面性や装飾性をだいじにしながら牛の量感をどういう風に出していくか、これは難題でした。言いたいことを、はっきりさせるための省略もいろいろ試みてみました。下図にはなかったのですが、画面の右上のロープのようにつ

なが（繋ぐ）意味をもたせるために描き加えたものもあります。不思議に描いていくうちに見えなかったものが見えてくる気がしてきました。牛は何を想い、何を見ているのか、その瞳に何が映っているのか、これは自分自身に対する語りかけでもあります。牛舎に小さな窓があいていて、はじめてここを訪れたとき、やわらかい若葉の光がさし込んでいましたが、制作の終わる頃には、もうすっかり秋の色に変わっていました。（橋本正弘）——ほかに第52回有秋会展（大阪市美術館）で森 蔦苑氏が無鑑査出品となり、篠原三叢氏が雲谿賞を受けられている。

個展では岡 英彦氏が3～4月「空、雲、街並み」心象風景を描く、また11月には「四季によせて」で2回の開催をした。9月には木内トシ氏が「吉野川によせて」で第2回目の個展を催されそれぞれ好評であった。

次に会員各位の今期における積極的な諸展への出品状況を月別にご紹介します。

1月	鳴門美術協会・新春展	鳴門四電ギャラリー	村上凌雪・高田瑞雪・矢野秋溪
2月	趣味の作品展	鳴門市立図書館	矢野秋溪
	“ 第18回色紙小品展 （県文化協会主催）	アミコ・ギャラリー	長尾弘子・篠原三叢・荻野行夫
3月	第1回岡英彦日本画展	S A T I E 8・1 F	岡 英彦（個展）
	“ 第34回日本南画院展	東京・京都・大阪美術館	森 蔦苑・村上凌雪（読売テレビ賞） 篠原三叢・長谷 壽・濱口芳春
4月	第47回京都市美術展	京都市美術館	岡 英彦（委嘱出品）
	“ 第77回県女流美術家協会 小品展	徳島県郷土文化会館	長尾弘子・岩瀬洋子・木内トシ 土井洋子・林 幸子・土方喜美子 齋藤久代・秋元よし子・柳田一子
	“ 第3回放美展	県郷土文化会館	（審査員）中川 健・森 蔦苑 西野和男 （放美賞）岩瀬 洋子 （入 選）江上豊溪・鶴 悦子 秦 照苑・高田愛子 柳田一子・林 幸子 吉坂美智子
5月	第5回朱泥会展	アミコ・ギャラリー	（朱泥会主宰）長尾弘子 秋元よし子・伊藤晴子・齋藤久代 佐藤晴子・福田佳代子
	“ 第29回日本墨彩画院展	新居浜市美術館	高田瑞雪・矢野秋溪・篠原三叢 森 蔦苑・長谷 壽
	“ 第33回阿南市展	阿南市民会館	森 蔦苑・篠原三叢・長谷 壽 秦 照苑
	“ 第35回小松島市美術展	小松島市中央会館	篠原三叢
	“ 第47回鳴門市文化展	鳴門市市民会館	村上凌雪・高田瑞雪・矢野秋溪

5月	第29回溪生社水墨画展	県郷土文化会館	横田谿秀・江上豊溪・永井貞溪
7月	ふるさと切手シリーズ	郵政省徳島中央郵便局	長尾弘子(阿波踊り)原面制作
〃	第23回中央展出品絵画展	県郷土文化会館	森 蔦苑・村上凌雪・篠原三叢
〃	第23回絵で見る徳島展	県郷土文化会館	長谷 壽・濱口芳春・江上豊溪
〃	第49回新作日本画展	県郷土文化会館	森 蔦苑・篠原三叢・長谷 壽 横田谿秀・濱口芳春・永井貞溪 (委 員) 森 蔦苑・篠原三叢 吉崎 進・矢野秋溪 長尾弘子・高田瑞雪 長谷 壽・萩野行夫 (会 員) 森内明子・吉崎美智子 秦 照苑・濱口芳春
9月	第2回木内トシ個展	県郷土文化会館	木内トシ
10月	第28回県女流美術家協会 展	県郷土文化会館	長尾弘子・木内トシ・土井洋子 林 幸子・土方喜美子・斎藤久代 秋本よし子・柳田一子 (上記と同じ)
〃	第23回仙台徳島交流女流 美術展	宮城県民ギャラリー	
〃	第9回国民文化祭みえ94	三重県	(秀 作) 鶴 悦子 (入 選) 江上豊溪 (無鑑査) 森 蔦苑 (雲谿賞) 篠原三叢 長谷 壽・濱口芳春
〃	第52回有秋会日本画展	大阪市立美術館	村上凌雪・高田瑞雪・矢野秋溪
〃	鳴門市美術協会展	鳴門四電ギャラリー	森 蔦苑・篠原三叢・長谷 壽
〃	第23回阿南市文化祭	阿南市民会館	鳴門市美術日本画部会員参加
〃	鳴門市展	鳴門市民会館	森 蔦苑・村上凌雪・篠原三叢
〃	第28回珀雲社日本画展	県郷土文化会館	長谷 壽・濱口芳春・林 幸子 (入 選) 橋本正弘
〃	第26回日展	東京都美術館	篠原三叢
11月	第37回小松島市展	小松島市中央会館	篠原三叢
〃	那賀川町公方展	那賀川町民センター	岡 英彦(個展)
〃	第2回岡英彦日本画展	眉峰ギャラリー	森 蔦苑・秦 照苑
〃	全国水墨画展	高知県田野町	江上豊溪・岡 英彦・木内トシ
12月	第23回チャリティー色紙 作品即売展	徳島そごう8F	篠原三叢・高田瑞雪・土方喜美子 長尾弘子・橋本正弘・村上凌雪 森 蔦苑・矢野秋溪 高田瑞雪
〃	歳末助合チャリティー展	善通寺福祉協議会	

- | | | | |
|-----|---------------------|--------------------|--|
| 12月 | 歳末助合チャリティー展 | 鳴門四電ギャラリー | 高田瑞雪 |
| 〃 | 第79回県女流美術家協会
小品展 | 阿波之里「夢廻廊ギャラ
リー」 | 長尾弘子・岩瀬洋子・木内トシ
土井洋子・林 幸子・土方喜美子
斎藤久代・秋元よし子・柳田一子
横田谿秀・江上豊溪・永井貞溪 |
| 〃 | 第30回溪生社水墨画展 | | |

部委員会の開催

- | | | |
|----------|---|------------------------|
| 6. 1. 15 | 1 | 平成6年度県美協総会の代議員選出について |
| | 2 | 第49回新作日本画展の開催について |
| | 3 | 94年版県美術年報の原稿取りまとめについて |
| | 4 | 第3回放美展の開催に伴う審査員の選出について |
| | 5 | 第49回県美術展の審査員の人選について |
| 4. 17 | 1 | 平成5年度の事業報告と会計報告の承認について |
| | 2 | 平成6年度の事業計画について承認の件 |
| | 5 | 第3回放美展の飾付作業協力について |
| | 4 | 美協、規約の一部改正について承認の件 |
| | 5 | 県展50年記念誌編集委員会の中間報告について |
| 6. 30 | | 第49回新作日本画展の搬入受付と審査会 |
| 7. 3 | 〃 | 受賞者表彰式と反省会 |
| 10. 16 | | 第49回県美術展の搬入と審査員を囲む会 |
| 11. 17 | 〃 | 飾付と反省会 |

洋 画 部

部 会 長 永 山 隆 二

年 間 展 望

◎第49回県美術展（第2期11/18～23 県郷土文化会館）

審査員には独立美術協会会員の、馬越陽子先生にお願いした。審査評を要約して紹介します。実に多様な絵が出品されていたが、どの絵からも好きで描いている作者の気持ちが伝わってきた。力作が多く、入賞作品のレベルはかなり高いと言える。今回はテクニックよりも絵から発せられるエネルギーを重視して審査にあたった。

県知事賞の林由紀「ライオン」は、決して丁寧な描写ではないが、言いたいことがストレートに伝わってくる。作者の内面を感じさせるところにひかれた。

特選の平野聖治「公園で散歩」は、一見稚拙に思えるが、見るものの心にじわじわと訴えかけるような、味がある作品だ。

同じく泉修一「生への横索」には、はっきりとしたテーマ性があり、絵に対する真摯（し）な取り組みが好感を呼ぶ作品だ。

◎第3回放美展（4/27～5/1 県郷土文化会館）

今回は前回と比較して応募点数が急増し181点となり、大変喜ばしいことですが、壁面の関係上、入選率43%とゆう厳選となった。

受賞者は次のとおり。

放美賞 玉田秀子「市場（鶴橋）」

優秀賞 桐島豊子「田園風景」 岡田光男「残照」 関京子「食卓」

南城ミツ子「阿波おどり」 三谷ミヤ子「紺屋町通り」

佐々木超「わかめ作業の漁夫たちB」 二條均「果物のある静物」

島川君子「尾道」

◎第9回洋画部会員展（6/2～5 県郷土文化会館）

出品点数が74点で、会員数と比較すれば少し少ない感じがして残念。

次回（平成7年）は第10回記念展なので、全会員協力のもとに立派な展覧会になることを期待してやみません。

<会員・個人消息>

※○美術年報名簿順、△住所変更

○青木 幸子 放美展、県展（郷文）。

○天野 節 県展賛助、青美展（郷文）。

○伊勢 浩章 県展、放美展、洋画部会員展、平和美術展（郷文）。日本水彩支部展、むつ美グループ展（四電）。

- 乾 繁春 美術文化展佳作賞・会友。美術文化関西展大阪府教育委員会賞（大阪市立美術館）。米国フロリダアート展（フロリダ洲）。県展、放美展、洋画部会員展（郷文）。キッスング18人展（四電）。世代美術展（シビック）。美術文化四国支部展（高知市）。
- 今田 史男 美術文化展会員。美術文化関西展（大阪市立美術館）。県展賛助、放美展理事、美術文化徳島展（郷文）。キッスング展（四電）。美術文化四国支部展（高知市）
- 大神 良代 自由美術展会員。県女流美術展、洋画部会員展（郷文）。女流美術小品展（阿波の里）。
- 岡 多美子 麻布美術館大賞展特別優秀賞評議員。京都1200年記念アートフェスティバル招待（京都府見本市会館）。新象展会員。サロン・ド・トヌヌ展招待（渋谷乗泉寺ホール）。ジャパンアーティスト100展招待（東京文祥堂）。女流美術小品展、女流美術展（郷文）。仙台・徳島文化交流展（宮城県立美術館）。女流美術小品展（阿波の里）。
- 岡田 君代 青美展、洋画部会員展（郷文）。
- △岡田 信一
- 岡田 守 県展賛助、洋画部会員展（郷文）。全美展、世代美術展（シビック）。
- 尾形 正二 県展、平和美術展、洋画部会員展（郷文）。
- 賀木 道子 旺玄展会員。旺玄会徳島支部展、洋画部会員展（郷文）。
- 河野 太郎 病気療養中。
- 河野 英昭 近代協会展会員。小田町を描く 美術展伊予銀行小母支店長賞（愛媛県立美術館）。
- 河田 安市 白日会展会員。日展。
- 岸本 花子 八万文化祭（八万コミュニティセンター）。県展（郷文）八紅展（シビック）。
- 騎馬 政美 県展、青美展（郷文）。18人展（四電）。
- 桐島 豊子 県展、放美展優秀賞、洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 楠瀬 等 県展招待（郷文）。
- 黒崎 志郎 日展、示現会展会員。示現会小品展（シビック）。洋画部会員展（郷文）。
- 後藤ユリ子 県展、洋画部会員展、女流美術展、女流美術小品展（郷文）。女流美術仙台交流展（宮城県美術館）。
- 後藤田仁一 美術文化展会員。関西美術文化展（大阪市立美術館）。美術文化徳島展（郷文）。美術文化四国支部展（高知市）。世代美術展（シビック）。キッスング展（四電）。
- 齊藤 靖子 日本版画院展同人。女流美術展、女流美術小品展、絵で見る徳島展（郷文）。15人展（四電）。徳島仙台交流展（宮城県美術館）。
- 笠川 五月 県展、青美展、平和展、旺玄会展（郷文）。18人展（四電）。八万町文化祭展（八万コミュニティセンター）。

- 佐野比呂志 関西独立展無鑑査（大阪市立美術館）。県展特別出品、放美展会長出品（郷文）。佐野比呂志裸婦シリーズ展（阿波の里）。世代美術展、全美展（シビック）。
- 清水 亟悞 モダンアート展会員。個展（徳島そごう）。
- 下内 裕次 モダンアート展。関西モダンアート展（県立近代美術館）。県展、モダンアート徳島支部展（郷文）。
- 高橋 敬 創造展会員（大阪市立美術館）。放美展審査員、県展招待、教職員展招待（郷文）。ふるさと散歩スケッチ展、キッスング15人展（四電）。
- 谷 節子 旺玄会展。洋画部会員展、中央出品作品展、ふるさとを描き遺す会展（郷文）。
- 玉田 秀子 放美展放美賞、県展、洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 津地 威汎 国展会員。国画会会員20人展（渋谷ギャラリーエモリ）。
- 辻野 正広 県展（郷文）。中央絵画グループ展（シビック）。
- 中川 正（隆史） 関西水彩画会展（大阪市立美術館）。形象派展（愛知県美術館）。燎四人展（郷文）。
- 中村 晴代 全美展、中央絵画展（シビック）。
- 長野 満子 旺玄会展、二科会展。中央出品作品展、洋画部会員展、絵で見る徳島展（郷文）。選抜巡回展（県下巡回）。城西中学文化展招待（城西中学校）。
- 永山 隆二 放美展運営委員、県展特別出品、教職員展招待、洋画部会員展（郷文）。世代美術展（シビック）。キッスング18人展（四電）。自在展（町田市民ホール）。
- 南城ミツ子 東光会展会友。放美展優秀賞、教職員展委嘱、洋画部会員展（郷文）。東光会徳島支部展（シビック）。
- 仁木 幸子 洋画部会員展（郷文）。
- 西川 周三 県展（郷文）。
- 西川 敬子 県展、洋画部会員展、平和美術展、女流美術展、女流美術小品展（郷文）。仙台・徳島文化交流展（仙台県民ギャラリー）。女流美術展（阿波の里）。
- 平尾マサミ 放美展、県展（郷文）。個展（森珈琲店）
- 平木 美鶴 グラフィノバ国際版画ドローイングトリエンナーレ展（フィンランド）。ビトラ国際版画トリエンナーレ展招待（マケドニア）。クラコウ国際版画トリエンナーレ展（ポーランド）。二紀展同人展。日本版画協会展会員。徳島二紀展（県立近代美術館）。アーティストバジャ展（阿波の里）。
- 福富 正二 放美展、洋画部会員展（郷文）。
- 藤居 文子 洋画部会員展（郷文）。
- 藤川 明子 全美展、中央絵画クラブ展（シビック）。
- 三木 俊一 東光会展。東光会徳島支部展（シビック）。白鳳グループ展（鳴門市図書館）。
- 三谷ミヤ子 放美展優秀賞、県展、洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 峯 幸子 洋画部会員展、む・アート展、女流美術展（郷文）。女流美術小品展（阿波の里）。

- 山口 和子 全美展、中央絵画展（シビック）。
- 吉永 房子 小松島美術展（小松島市中央会館）。中央絵画展（シビック）。
- 北 美智子 県展、放美展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 佐藤 敬子 県展、放美展、洋画部会員展、青美展、鴨島美術展（郷文）。
- 関 政明 小松島市展（中央公民館）。現代洋画精鋭選抜展銅賞（新宿伊勢丹）。洋画部会員展（郷文）。自由工房展、油絵3人展（喫茶やまなみ）。
- 福本 武子 東光会展。洋画部会員展、中央出品作品展（郷文）。東光会徳島支部展（シビック）。
- 福良 哲子 県展、放美展、洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 大西 文代 県展、放美展（郷文）。中央絵画展（シビック）。
- 岡田 克美 県展、放美展、洋画部会員展（郷文）。新春展（四電鳴門）。鳴門市展（鳴門市市民会館）。
- 尾崎 素子 東光会展会員。東光会展員選抜展（銀座セントラル美術館）。白鳳洋画グループ展（鳴門市立図書館）。
- 鈴木 明雄 県展、青美展（郷文）。土曜展（安田火災ギャラリー）。
- 田淵 浜子 旺玄会展会員。旺玄会大阪展選抜（大阪市立美術館）。県展（郷文）。
- 林 信夫 全美展（シビック）。
- 原田チエ子 東光会展。県展、青美展、ふるさと展へんろ道展（郷文）。白鳳グループ展（鳴門市図書館）。鳴門市展（鳴門市役所）。鳴門市チャリティ展（四電鳴門）。
- 林 由紀 県展特選・県知事賞（郷文）。
- 井沢 忠昭 県展、放美展（郷文）。
- 笹田 興一 美術文化関西展（大阪市美術館）。県展、洋画部会員展（郷文）。美術文化四国支部展（高知市）。
- 島村 英之 元現会展会友。
- 武市善次郎 日本アンデパンダン展。放美展審査員、県展賛助、洋画部会員展、虹の会グループ展、平和美術展、青美展、石井美術の会展、教職員展（郷文）。キッスング18人展（四電）。
- 立岩 巖 全美展文部大臣奨励賞。教職員展招待、中央出品絵画展、洋画部会員展、石井美術の会展（郷文）。全美展、世代美術展（シビック）。キッスング18人展（四電）。
- 谷 佳子 昭和美術会展同人（京都市美術館）。県展（郷文）センス展（四電）。
- 松川 寛 中国美術賞展（上海美術館）。モダンアート展会員。関空開港記念セレクトエッドアーティストオブジッパン展（大阪梅田画廊）。県展賛助、アトリエM展、洋画部会員展、燎4人展、中央出品絵画展、モダンアート徳島支部展、石井美術の会展（郷文）。関西モダンアート展（県立近代美術館）。
- 水間 利生 美術文化展奨励賞。美術文化関西展大阪府知事賞（大阪市立美術館）。県展、美術文化徳島展、石井美術の会展（郷文）。キッスング18人展（四電）。世代

- 美術展（シビック）。美術文化四国支部展（高知市）。石井文化祭（石井中央公民館）。
- 宮本 幸江 東光展。女流美術展、石井美術の会展、洋画部会員展（郷文）。東光会徳島支部展（シビック）。女流美術小品展（阿波の里）。
- 毛利 谷子 東光会展会友。洋画部会員展、女流美術展、石井美術の会展（郷文）。石井町文化展（石井中央公民館）。女流美術仙台交流展（仙台美術館）。東光会徳島支部展（シビック）。女流美術小品展（阿波の里）
- 越久 高照 県展、青美展（郷文）。藍美展（緑の広場）。
- 久米 正明 北島町立図書館開館記念大作絵画展、北島町ふるさとを描き残す会展（北島町図書館）。
- 二条 均 県展、放美展、青美展（郷文）。
- 浜尾みつこ 県展、洋画部会員展（郷文）。北島町ふるさとを描き残す会展（北島町図書館）。
- 板東 俊一 大潮展会員。県展賛助（郷文）。藍美展顧問（緑の広場）。
- 堀切 薫子 全美展、中央絵画展（シビック）。
- 三沢 尚子 関西水彩画展会員（大阪市立美術館）。燎四人展、女流美術展（郷文）。女流美術小品展（阿波の里）。
- 三好 初子 東光展会員。県展、洋画部会員展、女流美術展（郷文）。東光会会員選抜展（銀座セントラル美術館）。女流美術仙台交流展（仙台県民ギャラリー）。東光会徳島支部展（シビック）。女流美術小品展（阿波の里）。藍住町美術展（緑の広場）。
- 大塚 政孜 県展、洋画部会員展、試行展（郷文）。
- △岡田 光男 示現会展。放美展優秀賞、県展、洋画部会員展、平和美術展、青美展、鴨島美術展（郷文）。
- 岡本 征二 県展招待、鴨島美術展、洋画部会員展（郷文）。
- 島上 二郎 東光会展。県展（郷文）。
- 下時治郎秀臣 白日会展会員。白日会巡回展（愛知県美術館、大阪近鉄百貨店、天満屋岡山・広島店）。白肯会展（銀座三越）。麻の会展（徳島そごう）。鴨島美術展（郷文）。
- 志摩 政照 試行展、鴨島美術展（郷文）。
- 松尾 彰滋 白日会展会員。麻の会展（徳島そごう）。鴨島美術展（郷文）。
- 真野 孝彦 県展、青美展、鴨島美術展（郷文）。個展（徳島そごう）。
- 湯峯エミ子 示現会展。放美展、鴨島美術展、洋画部会員展（郷文）。
- 浅田 二郎 東光展会員。洋画部会員展、県展賛助、中央出品作品展（郷文）。県秀作美術展（県下巡回）。
- 小笠 正明 旺玄会展。旺玄会徳島支部展（郷文）。
- 関 京子 県展、放美展優秀賞（郷文）。八紅展（徳島そごう）。
- 曾我部秀子 県展準特選、放美展（郷文）。八紅展（徳島そごう）。

- 田所 米子 平和展、青美展（郷文）。
- 藤本 晴子 二科展。県展、洋画部会員展、試行展（郷文）。脇町文化祭（脇町中）。支部会員展（脇町NTT）。
- 三谷多美子 二科展。県展、試行展（郷文）。
- 金岡 義和 洋画部会員展（郷文）。
- 川原 康孝 放美展理事、県展招待、洋画部会員展（郷文）。全美展（シビック）。土曜画会展（三加茂町）
- 川原 真琴 土曜画会展（三加茂町）。洋画部会員展（郷文）。三好文化祭、三加茂町・池田町文化交流展（池田小）。
- 平尾美智子 二科展。ル・サロン展（パリ、グランパレ）。草の実会展（池田町ジャスコ店）。
- 山口美千代 洋画部会員展（郷文）

写 真 部

部 会 長 西 條 征 二

年 間 展 望

◎第49回徳島県美術展（2期11月18日～23日）徳島県郷土文化会館

昨年に続いて写真家・勲四等瑞宝章受賞・杵島隆先生に審査をお願いした。今回は「突出した作品がなかった」のが、率直な感想だ。異常気象が反映して「水気のない写真」、小手先で色調を出した「ハタハリ性の強い作品」が目立った。また組写真は物語があるのが原点である。それをわすれて「連写真」で物語性を出そうとしている作品が多い。そこに無理があり、相互に殺し合うことになっている。この点を特に注意された。

特選県議会議長賞の前坂祥文「94早明浦の夏」（3枚組）は今夏一番の社会的関心事だったダム渇水をとらえた作品群の中で、しっかり表現していた。特選に富永章子「祈願」。林久雄「春の訪れ」。岡村清「夏」がそれぞれ受賞した。

◎徳島県美術家協会写真部会主催「姫路城」撮影会 6月5日（日）

雨天決行としたが当日は晴天にて実施された。写真部会会員34名が参加し、貸切バスにて徳島駅前ポポポ街東口7時30分出発し、大鳴門橋＝岩屋港＝明石港＝姫路城着11時10分となる。撮影後姫路城発（15.00）＝徳島駅前着午後6時30分であり、各人無事家路についた。この姫路城撮影会作品コンクールは行わなかった。

◎第28回徳島県芸術祭

9月1日より12月25日の間、県下各会場にて行われ、毎年各部門ごとに多数の参加があり、作品点数も増加、内容も充実した。写真部会審査担当は西條征二、増田清次、古谷政二である。

美術第一部門 優秀賞

山畑富志広「狙う・捕る・叫び・ヤマセミ」（組写真）

板東敏晴「黎明」

表彰式は平成7年1月18日、徳島県庁にて行われた。

◎第3回放美展 4月27日（水）～5月1日（日）徳島県郷土文化会館

多数の作品がよせられ、幅広い層からの応募があり、自分の身の回りの被写体を作品化したものが多く気軽な出品で盛況であった。個性豊かな力作が展示され充実した展覧会となった。出品総数238点、出品者数116人であった。

放美賞 赤木昭子「まなざし」

優秀賞 妹尾早苗「少女」、前坂祥文「雪日暮色」、折野理悦「祭り寸景」、原井裕夫「蒼の海」、内田忠秋「孤愁」、佐治利弘「春」、河田清「釣人」、柳本正「明日香」、井上憲治「秋」、井藤光章「冬日」。

審査員は櫛淵魏、井上光雄、安長剛。

◎二科会写真部公募展（東京上野美術館、上野の森美術館）

本県から4名の栄冠者があった。来年度は精力的な参加意欲をもって多くの出品を期待したい。板東敏晴「春」、増田寿「出番前」、久米武雄「サハラ黎明」、吉田弘「声援をうけて」が入選した。

◎徳島県秀作巡回美術展

芸術祭主催行事の一環として実施された。市町村を巡回する美術展は、芸術文化の振興、普及に大きな成果を上げている。西條征二、荒井賢治、楠淵魏が参加出品した。

◎その他主な県下の展覧会

・第23回徳島県教職員美術展

1月14日（金）～1月16日（日）徳島県郷土文化会館 審査員 酒井博司

・第9回全日写連県本部写真展

1月28日（金）～30日（日）徳島市アミコシビックセンターギャラリー

日本の自然入賞作品展示

・吉本 旭写真展 「裸景」

'94.1.25～27 四電プラザ2 Fギャラリー

・第14回写ガール徳島写真展

2月12日～14日 四電プラザ2 Fギャラリー

・第24回ナルトびんぼけクラブ写真展

3月19日（金）～21日（日）山高ギャラリー

・渭東カメラクラブ写真展

4月22日（金）～24日（日）徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

・鳴門市文化展

5月13日（金）～15日（日）鳴門市市民会館

・第17回写真同人「炎」作品展

5月20日（金）～22日（日）徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

・第12回写真集団「風」作品展

5月27日（金）～29日（日）徳島市アミコシビックセンター5 F

・第一回写団「無」写真展

6月15日（水）～17日（金）徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

・小松島カメラクラブ20周年写真展

6月17日（金）～19日（日）徳島県郷土文化会館3 F展示場

・「阿波の女」吉成正一写真展

6月9日（木）～13日（月）徳島市アミコシビックセンター5 F

・第14回写団「未知草」作品展（四季のアルバム）

7月15日（金）～17日（日）徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

・第29回光展（四国展）

8月24日（水）～29日（月）徳島市アミコシビックセンター5 F

◦ 第5回写真展グループ「菓立」

9月16日（金）～18日（日） ヨンデンプラザ徳島

◦ 第34回写楽会写真展

9月24日（土）～26日（月） 徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

◦ 第47回鳴門市展

10月18日（火）～20日（木） 鳴門市市民会館

◦ 第14回四人会写真展

10月22日（土）～24日（月） 徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

◦ 徳島フォトサロン展（旧明治・大正写真作家クラブ）

10月26日（水）～28日（金） 徳島市シビックセンターギャラリーA・D室

◦ 第8回徳島花を写す会写真展

11月1日（火）～4日（金） ヨンデンプラザ2 Fギャラリー

◦ 第54回国際写真サロン徳島展

11月1日（火）～1月6日（日） 文化の森・県立21世紀館多目的活動室

◦ 第17回日光会写真展「ふるさとからの報告」阿波の風景

11月5日（土）～7日（月） ヨンデンプラザ徳島1 F

◦ 第25回ナルトびんぼけクラブ写真展

11月23日（水）～25日（金） 徳島市アミコシビックセンター5 Fギャラリー

◦ 第1回朝日四国写真展

入賞作品は四国四県を巡回します。徳島県入賞者は次の通りです。

徳島県知事賞・荒井由子「ポピー」、全日写連徳島県本部長賞・栗田一衛「阿波娘」、
奨励賞・西條征二・前坂祥文、入選・荒井賢治・船越正文・上野照文・井上憲治・久
保英樹・森住 博・井藤光章・森 賢一・大津勝治・林敏彦・大野 武

◦ 真田幸隆写真展（私の医療現場から）

11月28日（月）～12月1日（木） ヨンデンプラザ徳島2 F

◦ 第3回コンタックスクラブ徳島支部写真展 同時開催、93 グランドフォトコンテスト入賞作品

12月9日（金）～12日（月） ヨンデンプラザ徳島2 Fギャラリー

彫 刻 部

部 会 長 佐 藤 隆

年 間 展 望

第49回展は二科会員の綿引道郎氏（広島市立大学教授）に審査をおせわになった。

総評では、具象が多く、抽象が少なかった。

全般にまだ勉強中で、成長途上という印象を持ったとのこと。彫刻は対象からあふれ出る生命感をつかみ取り、それを作者の創造力やエネルギーと融合させ、それに即した技法を用いて表現するものと話された。特選で県教育長賞の蒔田寿氏の「世紀末の王」は平面と曲面がうまく調和し、生命感が具現化されて、実によく細かい所の構成にまで気くばりがされているとの評。準特選の阿部佳代氏の「ゆう」は、まじめないい作品で心棒がしっかりしてよかった。居上真人「楽太」は、砂漠とピラミッドのイメージを組み合わせ、夢があって楽しいとの評。出品点数が26点と近年になく少なかった。厳しい審査になったが、今後出品者の拡大に力を注がねばならないと痛感した。

<個人消息>

居上 真人	第3回石のさとフェスティバル彫刻コンクール タダノ賞	香川
	第79回二科展 特選	東京都美術館
	第49回徳島県展 準特選	徳島
	第7回神戸具象彫刻大賞展 模型入選	兵庫
井下 俊作	第49回行動展	東京都美術館
上田 久利	日本彫刻会展（無鑑査会員） 麻の会 日展（委嘱）	東京都美術館 そごう美術画廊 東京都美術館
大津 文昭	ひまわり会館モニュメント設置 第32回徳島野外彫展	阿南市
河崎 良行	野外彫刻のためのマケット100展 第14回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 エスキース優秀作品展	新潟市美術館 神戸市役所市民ギャラリー
	第48回二紀展	東京都美術館
	第2回日本芸術家精鋭展	東京・東急プラザ
	第28回文化庁現代美術選抜展	長岡市美術センター 郡山市立美術館 リアス・アーク美術館

	第2回春季二紀展	東京セントラル美術館
	二紀受賞作家新作展	銀座松坂屋別館 4階画廊
鎌田 邦宏	第48回二紀展	東京都美術館
佐藤 隆	第32回徳島野外彫刻展	徳島中央公園
濱口 恵	第44回モダンアート展	東京都美術館
	第32回徳島野外彫展	徳島中央公園
	徳島県秀作巡回美術展	県内7会場
東 光司	第3回石のさとフェスティバル	
	彫刻コンクール展 入選	香川
	第14回関西モダンアート展	徳島県立近代美術館
	モダンアート協会徳島支部展	郷土文化会館
松永 勉	第17回日本金属造型作家展	東京ドイツ文化センター
	第3回倉敷まちかどの彫刻展模型展	倉敷市
	北九州市小倉文化記念公園モニュメント	
	「風景の躍動」設置	小倉市
	仙台市にモニュメント「空より」設置	仙台市
	宮城県角田市モニュメント設置	宮城県角田市
	第49回行動展	東京都美術館
	第9回国民文化祭みえ'94彫刻展	
	「風景の躍動」三重県教育長賞	三重県大宮市
	第16回現代日本彫刻展 模型入選	宇部市
	西福岡マリナータウン彫刻フェスティバル	福岡市
蒔田 寿	第3回放美展 放美賞	郷土文化会館
	第48回二紀展	東京都美術館
	第49回徳島県展 特選	郷土文化会館
三木 健司	第48回二紀展	東京都美術館

美術工芸部

部会長 山 上 馨

年間展望

第49回県展は、出品点数155点、入賞5点、入選88点であった。審査は広島市立大学芸術学部長山下恒雄先生にお願いした。審査評としては「今回は焼き物の出品が多い中において、際立っていいものを含め、全般に秀作ぞろいという印象を受けた。また、パッチワークやタペストリー作品にも、素材が持つ特徴などをうまく引き出したものが目を引いた。その反面、徳島特産の藍染をモチーフにした作品に 出色のものがなかったのは残念であり、寂しさを覚えた。今後のアドバイスとしては、技術はむろん大切だが、もっと造形的な研究に比重を置いてもらいたい。」

「徳島市長賞・三宅真弓の陶器「沈海」は、新しい形態による面白さを加味した造形美と、深い海の底をイメージする色彩のトーンが素晴らしい。構想段階からしっかりとした構成力を感じる作品である。特選の平井恵子「風と光のシンフォニー」は、見るからに清楚で上品な出来栄え、色彩の配分、その量とも調和がとれており、好感が持て飽きがこない。準特選の丸居哲雄「父と子」（額）は、身近な阿波踊りをモチーフにしているが、気負いがなく親子の語らいの場面が素真に温かく伝わってくる。犬伏絢「絨織着物「樹」」は木々の葉を巧みに表現するなど、色遣いがリズムカルで、しかも調和がある。特に交差する木漏れ日の表現がにくい。天野和子のパッチワーク「天翔ける」に構成・パターンにまとまりがある労作。平面作品の中では異彩を放っている。」

第3回放美展は、出品点数100点、入賞5点・入選55点であった。前回より出品はやや減少したが、回を重ねるごとに意欲的な作品が多くなり、新人の台頭とレベルの向上がみられる。放美賞に吉田敏明「壺」が、優秀賞には森 明治「暁天」（陶）、杉原素子「流れの詩」（染）、金磯秀樹「殖産興業」（染）、正木和夫「抱擁」（金工）が入賞した。

春の放美展、秋の県展ともに新人の台頭が目立った年であった。主題の追求・新しい造形感覚・思い切った表現で、新風を吹き入れた若い力に敬意を表するとともに、美術工芸の今後の発展を期待したいものである。

<個人消息>

- 鴨川美佐子 ◦現代工芸展（入選）（3月）東京都立美術館
- 「ふら布パッチワークキルト作品集」出版（5月）
- " 出版記念作品展（5月）アミコシビックセンター
- パシフィックインターナショナルキルト展 入選（9月）ロスアンゼルス
- キルトアイ作品展（9月）東京・銀座

- K Q S 12人展 (10月) 東京・新宿ヴォーグ社
 - 現代工芸四国会三越展 (11月) 高松・三越美術ギャラリー
 - 第13回ふら布パッチワークキルト展 (11月) アミコシビックセンター
- 多智花佐代子
 - 第33回日本現代工芸美術展(会員出品) (3月) 東京都立美術館
 - 同上 高松巡回展 (5月) 香川県立文化会館
 - 第25回日展「徳島展」 (8月) 県郷土文化会館
 - 陶・杓・染・織徳島の工芸5人展 (11月) 丸新美術サロン
 - 現代工芸四国会展 (11月) 高松・三越
- 九十九健二
 - 第一美術展 (5月) 東京都立美術館
- 永山昭一郎
 - 第2回正倫会陶芸展 (3月) ヨンデンプラザ徳島
 - 第19回徳島陶芸会創作陶芸展 (9月) アミコ・シビックセンター
- 新居 猛
 - 1950年以降「日本のデザイン」展出品 (9月) フィラデルフィア美術館
 - 「信濃川テクノポリス国際デザインコンペティション'94」入選 (10月) 新潟・長岡市
 - 「国井喜太郎産業工芸賞のあびと」
“椅子と40年”掲載 (11月) 財団法人工芸財団
 - “ニーチュア・X” ニューヨーク出品 (12月) MOMA
- 西 浩子
 - 第78回徳島県女流美術家協会展 (10月) 県郷土文化会館
 - 第79回 “ ” 作品展 (12月) 阿波の里ハレルヤギャラリー
- 日浦 久代
 - 平和美術展 (5月) 県郷土文化会館
 - 女流美術展 (10月) “ ”
 - 藍染五つの世界三人展 (6月) ヨンデンギャラリー
 - 女流美術小品展 (12月) 夢回廊
- 平井 恵子
 - 日本現代工芸美術展 (3月) 東京都立美術館
 - “ ” 近畿展 (4月) 京都市立美術館
 - 大津市美術展(教育委員長賞) (7月) 大津市歴史博物館
 - 滋賀県展(美術祭賞) (11月) 滋賀県下巡回
 - 日本現代工芸美術展近畿選抜展 (12月) 京都府立芸術文化会館
- 平野仁太郎
 - 第19回徳島陶芸会創作陶芸展(優秀賞) (9月) アミコ・シビックセンター
- 森 賢一
 - 第33回日本現代工芸美術展 (3月) 東京都立美術館
 - 現代工芸四国会展 (11月) 高松・三越
- 森 昌男
 - 第33回日本現代工芸美術展 (3月) 東京都立美術館
 - 同 高松巡回展 (5月) 香川県立文化会館
 - 第29回中部染色作家協会展
(協会会員賞) (6月) 愛知県美術館
 - 日本総合美術展(優秀賞) (10月) 京都府文化博物館
- 四十宮年代
 - 県手工芸協会展 (10月) 県郷土文化会館
 - 日本手工芸美術展 (12月) 東京都立美術館

- | | | |
|-------|--------------------------|-----------------------------------|
| 大西 義浩 | ◦第2回徳島の陶芸展 | (11月) 徳島・そごう |
| 西江 正夫 | ◦県手工芸協会展 | (10月) 県郷土文化会館 |
| 松山 豊 | ◦陶炎グループ展 | (5月) 県郷土文化会館 |
| | ◦第19回徳島陶芸会創作展 | (9月) アミコ・シビックセンター |
| | ◦鳴門市展 | (10月) 鳴門市体育館 |
| 森 浩 | ◦第36回日本民芸公募展(優秀賞) | (11月) 大阪・財団法人日本工芸館 |
| | ◦第2回徳島陶芸展 | (11月) 徳島・そごう |
| 矢野 款一 | ◦第11回陶の会焔 | (9月) アミコ・シビックセンター |
| | ◦日本工芸会四国支部展 | (11月) 高松・三越 |
| 影谷美代子 | ◦徳島平和美術展 | (5月) 県郷土文化会館 |
| | ◦藍染五つの世界3人展 | (6月) ヨンデンプラザ徳島 |
| | ◦小松島市芸術祭 | (12月) 小松島中央会館 |
| 山本 和子 | ◦第33回日本現代工芸美術展 | (3月) 東京都立美術館 |
| | ◦創手人53染展 | (6月) 広島県民文化センター |
| | ◦第3回山本和子染色展 | (7月) ヨンデンプラザ徳島 |
| | ◦徳島現代クラフト5周年記念展 | (9月) 県郷土文化会館 |
| | ◦サロン・ド・トーンヌ94展 | (10月) フランス・グランパレ美術館 |
| | ◦現代工芸四国会展 | (12月) 高松・三越 |
| 阿部 一雄 | ◦徳島平和美術展 | (5月) 県郷土文化会館 |
| 堺 都美子 | ◦第33回日本現代工芸美術展 | (3月) 東京都立美術館 |
| | ◦徳島平和美術展(奨励賞) | (5月) 県郷土文化会館 |
| 橋 恵 | ◦徳島平和美術展 | (5月) 県郷土文化会館 |
| | ◦日本の伝統工芸展 | (6月) パリ・日本館 |
| | ◦徳島デザインドーム | (10月) 木工会館 |
| | ◦徳島の工芸五人展 | (11月) 丸新美術サロン |
| | ◦薩摩利子と藍愛私パッチワーク
キルト展 | (12月) シビックセンター |
| 藤本善太郎 | ◦徳島平和美術展 | (5月) 県郷土文化会館 |
| | ◦第19回徳島陶芸会創作陶芸展 | (9月) アミコ・シビックセンター |
| 小栗加代子 | ◦日本の美キルト展 | (1月) 米国マディソンモーガン文化
センターなど各地美術館 |
| | ◦第一美術展 | (5月) 東京都立美術館 |
| | ◦もめんの詩第12回パッチワーク
キルト展 | (10月) 県郷土文化会館 |

書 道 部

部 会 長 新 居 藍 州

年 間 展 望

県展・放美展・県書展の三大展がそれぞれの内容を充実し、出品点数も着実に増加して終了した。その上に今年は記念すべき二つの事業を挙げることができる。その一つは「菘翁美術館」の誕生である。貫名菘翁研究の第一人者である田中双鶴先生がご自分の所有地に、私財を投じて、床面積75平方メートル、壁面延長40メートルに及ぶ展示室と別に収蔵庫を備えた美術館を建設され、100点に及ぶ菘翁の作品を常設展示されている。菘翁生誕の地にこの美術館が建てられたのはまことに意義深いもので、全国に誇るに足るとともに県人の眼福測り知れないものがあるだろう。

第二に、10月11日から14日にかけて県郷土文化会館で「第7回全国シルバー書道展・徳島展」が開催された。笹尾芳石氏が運営委員長となって推進されたものであるが、美協書道部役員各氏の協力によるものである。生涯学習振興の視点からこの書道展の意義は大きいものがあると考えられる。

田中双鶴先生の「菘翁美術館」をきっかけに県内に「書道美術館」の構想が話題となった。菘翁・中林呉竹・小坂奇石・柴秋邨等名跡の多い本県として是非実現を期待したいものである。

県芸術祭参加行事は、別掲のごとく盛況であるが、その会場の確保はまことに困難を極めている。一日も早く発表の場に公開される公立美術館の建設が望まれるところである。

◎第3回放美展（4/27～5/1 県郷土文化会館）

出品点数142点、入賞入選102点、審査員役員等出品10点、展示総数112点（前回比32点増）

- ・放美賞 近藤 静苑
- ・優秀賞 原田 和明、川村 春琴、清水 嘉子、中尾 勝子、竹田 和代、
桑村 清

（審査員 田中 双鶴、渡辺 草石、荒井 彭仙）

◎第9回徳島県書道展（6/22～26 県郷土文化会館）

入賞入選346点、展示総数671点（前回比93点増）

- ・大賞 竹内 虹舟
- ・準大賞 東 弥生 吉田 素川
- ・特選 24点
- ・準特選 71点
- ・一科推薦賞 51点
- ・二科推薦賞 116点
- ・入選 78点

◎第49回県美術展（11／9～16 県郷土文化会館）

- 特選・徳島新聞社長賞 江本 竹芳
- 特選 高田 青蓮、能仁 華瑤、三浦富美代、玉城 乾香、山口 幽徑
- 準特選 鳩成 青嶂、米澤 司子、鈴木 翠雲、南 溪石、東 弥生、
増田 愛子、山中 真紀、近藤 俊流、吉田 容溪、高岡 晃祥、
坂東 玉柳、岩本 志豪、林 桂翠
- 入選 537点
- 展示総数 602点
(審査員 鈴木 桐華、西本 支星、金子 聡松)

◎第28回徳島県芸術祭

1 参加行事

- | | | |
|-------------------|-----------|-------------|
| ◦第57回徳島書芸院展 | 9／1～4 | ヨンデンプラザ徳島 |
| ◦第3回砂光篆会作品展 | 9／2～4 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第7回阜玄書道会展 | 9／2～4 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第18回大日本書芸院徳島連合展 | 9／15～18 | 県郷土文化会館 |
| ◦第23回徳島雪心会書作展 | 9／15～18 | 県郷土文化会館 |
| ◦第24回直心会書展 | 9／16～18 | 県郷土文化会館 |
| ◦第12回双愛書道会作品展 | 9／21～23 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第24回東玄書道会展 | 9／23～25 | 県郷土文化会館 |
| ◦第17回泉心会書作展 | 9／29～10／2 | 県郷土文化会館 |
| ◦第6回睦月会書展 | 10／10～12 | ヨンデンプラザ徳島 |
| ◦新居藍州書作展 | 10／29～31 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第2回聖邨一門書展 | 10／29～31 | 県郷土文化会館 |
| ◦第15回書研社展 | 11／12～14 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第24回光輪社書作展 | 11／26～28 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第15回四国大学書道秀美展 | 12／2～4 | 県郷土文化会館 |
| ◦大叡会書作展 | 12／2～4 | 県郷土文化会館 |
| ◦第29回書道研究清潮書作展 | 12／7～9 | 徳島市シビックセンター |
| ◦第24回四国大学書道クラブ学外展 | 12／16～18 | 県郷土文化会館 |
| ◦第15回臨池書展 | 12／16～18 | 県郷土文化会館 |

2 受賞者

- 最優秀賞 新居 藍州
- 優秀賞 宮守 崇流、豊浦 春光、鳩成 青嶂、丸岡 香貞、津田 玉泉
中西 甫子

<個人消息>（平成6年1月～12月）

- 1 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し、作品を発表した人々。
 - 第35回太玄書展（東京都美術館 1／11～16）

- 田中 双鶴、近藤 静苑、笹尾 芳石、田村 昇鶴、春藤 大耿、中谷 史子、
中尾 勝子、竹田 和代、岡島 順子、清水 嘉子、西谷 香峰、炭谷 叢江、
下村 清子、瀬藤 豊子、広島 章子、富久 鳴泉
- 第16回青潮書道会全国展（大阪市立美術館 1/21~23）
西 南龍
 - 第48回日本書芸院展（大阪市立美術館外 2/4~13、4/5~10）
隅田 英二、西岡 五峰、上田 溪水、長江 頌石、吉田 素川、東 南光、
山口 華城、勝瀬 景流、吉岡 景鷗
 - 第30回創玄展（東京都美術館 3/7~12）
荒井 天鶴、荒井 彭仙、玉城 乾香、永松 春苑、高岡 晃祥、佐原 和清、
久保 幽香、岸 潮風、芝原 醒鶴、長原 阜鷗、浜 佳香
 - 第16回日本書道学院展（都立貿易センター 3/26~28）
勝瀬 景流、吉岡 景鷗、薄田 玲泉、赤川 景丹
 - 芭蕉と書の世界展（東京セントラル美術館 5/30~6/5）
久保 幽香
 - 第16回由源社展（マイドーム大阪 5/28~30）
勝瀬 景流、吉岡 阜鷗
 - 第17回日本かな書展（東京日本橋高島屋 5/26~31）
讃岐 泰泉
 - 第38回東方書道展（東京都美術館 7/1~6）
上田 溪水、東 南光
 - 第46回毎日書道展（東京都美術館 7/8~17）
荒井 天鶴、荒井 彭仙、久保 幽香、玉城 乾香
 - 第46回毎日書道展四国展（愛媛県立美術館 8/16~21）
荒井 天鶴、荒井 彭仙、岸 潮風、多田 清芳、玉城 乾香、長原 阜鷗、
浜 佳香
 - 第11回産経国際書展（東京池袋サンシャイン会館 7/30~8/7）
讃岐 泰泉
 - 第11回読売書法展（ふくやま美術館外 9/20~28）
勝瀬 景流、東 南光、上田 溪水、薄田 玲泉、新居 藍州、能仁 華瑤、
山口 華城、吉岡 景鷗
 - 創玄現代書展（東京セントラル美術館 11/1~6）
久保 幽香
 - 第16回東京書作展（都立貿易センター台東館 11/29~12/6）
田中 双鶴、近藤 静苑、中尾 勝子、春藤 大耿
- 2 中央展・県外展に入賞した人々
- 第35回太玄書展（東京都美術館 1/11~16）
（第35回記念賞） 中谷 史子

- (特別賞) 山中 真紀
- (奨励賞) 大櫛一峰、田中久恵、南 溪石
- (会員新人賞) 笠井 宣江、由利 里子
- (推 選) 足立 玉美、富士 明美、辻 尚子
- (準推選) 岸田いち子、椎野 春翠、芦尾 恵子、加藤香津子、西 直子、
渡部 利鶴
- (特 選) 笠井 民子、高橋 武子、中山 智子、岩佐 悠歩、横関 柏翠、
古田美沙紀、須原 理恵
- (準特選) 山西 淳子、山本 絵里、藤永 真里、稲垣 幸、小川 満子、
大久保春邨、金子 白雲、板東 照山、中村 絢子、福田 雪江、
杉本 智子、西野 裕子、植町 晃子
- 第16回青潮書道会全国展 (大阪市立美術館 1 / 21~23)
- (特別賞) 丸谷 美苑
- (特 選) 秦 照泉
- (準特選) 黒田 明香
- 第48回日本書芸院展 (大阪市立美術館外 2 / 4~13、4 / 5~10)
- (特別賞) 高田 青蓮、藤村 柳葉、青木 東原、島田 小園
- (特 選) 阿部 千明、上野 素香、加藤 玲子、佐々木陽子、鳩成 青嶂、
浜田真由里、以西 恒心、駒田 水洸、清水 桂月、豊浦 春光、
藤田 喜美、松永 翠月、上田 輝芳、柘木 香雲、森 光翔、
吉岡 華邨
- (一科推薦賞) 相原 美香、奥本 益世、清田千江子、小松 美佳、高田 嘉代、
小西 玉翠、新開 橘邨、酒井 萌邨、竹中 恵邨
- (二科推薦賞) 大下 美和、細堀 恵美、長尾 愛香、矢野 紅邨、酒井 光邨、
井内 寿邨、高松 輝邨、前田 曄邨、魚井 勝邨、田村 栄邨
- 第30回創玄展 (東京都美術館 3 / 7~12)
- (一科特選) 坂本 霄風
- (一科秀逸) 大久保尚華、岩本 志豪、岸 緑香、多田 清芳、富川 博香、
野田 香洋、丸岡 香貞、森岡 貞幽、山口 幽徑
- (二科賞) 大西 千鶴、田淵 珠香、鳥井 容光、長原 七与、沼田 裕司、
播磨美智子、森本 泰代、米本 元枝、吉田佐知子
- (準二科賞) 清水 静僊、幸田 康代、川又 晃容、森本 成玉、蔭野 靖佳、
江原 美津、船崎 友子、梯 周女、東條 桂香、楠 恵利子、
藤本 優子、山川 政江、賀好 治美、高瀬 善郎、和田 悦代、
市原 泰江、河内 育美、遠藤波都恵、芝原 百代、福田 和香、
谷本喜代江、吉田志希子、吉岡 詔子、福本 朗子、仁木志毛江、
谷本富美世、吉川 洋子

- 第16回日本書道学院展（都立貿易センター 3/26～28）
 - （大賞） 河野 真流
- 第38回東方書道展（東京都美術館 7/1～6）
 - （褒状） 清水 桂月
- 第46回毎日書道展（東京都美術館 7/8～17）
 - （毎日賞） 永松 春苑
 - （秀作賞） 佐原 和清、勝瀬 嘉香、丸岡 香貞
- 第11回産経国際書展（東京池袋サンシャイン会館 7/30～8/7）
 - （無鑑査準大賞） 三浦富美代
 - （特別賞） 松本 清香
 - （特選） 高島 瑞峰、尾田 艶子、竹中喜代子、井川 敏子、武市 勝恵
 - （秀作） 西浦千代里、近藤マサエ
- 第11回読売書法展（ふくやま美術館外 9/20～28）
 - （特選） 隅田 英二、長江 頌石、河野 真流
 - （秀逸） 高田 青蓮、豊浦 春光、井上 虹雨、佐川 菁流、上田 輝芳、
長谷 美峰、近藤 聖邨
- 第16回東京書作展（都立貿易センター台東館 11/29～12/6）
 - （東京新聞賞） 吉成 真美
 - （特選） 岸田いち子
 - （優秀賞） 阿部 豊雲、稲垣 幸、日下 弘美、坂田美智子、西谷 香峰、
浜田千鶴子、福島 由佳、増田 恵子、三津 栄紅、宮田 美鶴、
吉本 道子
 - （奨励賞） 足立 玉美、大櫛 一峰、加藤香都子、馬居 汀香

3 個 展

- 西 南龍チャリティー書作展（徳島市シビックセンター 2/25～27）
- 第10回チャリティー田中双鶴書作展（徳島そごう 5/3～9）
- 上田溪水書作展（徳島市シビックセンター 7/28～31）
- 新居藍州書作展（徳島市シビックセンター 10/29～31）

デザイン部

部会長 浅野 昌哉

年間展望

▶第49回県美術展

県美術展にデザイン部門が参加して今年で24回目を数える。出品作家の大半を占める若い学生の自由で個性豊かな作品には目をみはるものがある。今年も東京より青葉益輝氏（日本グラフィックデザイナー協会理事）を迎え熱の入った審査が行われた。

出品総点数134点と昨年を8点上回る応募があり、この中から特選の1席は野間口志保が受賞した。又、会員では準特選に敷島のり子が入選には天羽恵子の両氏が選ばれた。

全体では女性の出品者が多く審査会場が緊張感の中にもはなやいだ雰囲気につつまれた。尚、審査終了後の講評の中で青葉氏が特に学生出品者へのアドバイスとして、「自分から離れて人に分かるように作りなさい」というポスター本来の意義を話してくれた。

<行事>

▶第49回県美術展デザイン部門（第2期）11月18日～23日 県郷土文化会館

審査員／青葉益輝（東京）

賛助出品／坂本三千一

招待／浅野 昌哉・斎藤 繁次

無鑑査／坂野美恵子

準特選／敷島のり子

入選／天羽 恵子

▶移動県展

出品／敷島のり子

▶第3回放美展デザイン部門 4月27日～5月1日 県郷土文化会館

審査員出品／田中一郎・斎藤繁次・坂野美恵子

理事・運営委出品／坂本三千一・福井章・浅野昌哉

入選／敷島のり子

▶徳島県秀作巡回美術展 10月18日～11月22日 県内各地

出品／坂本三千一・敷島のり子・浅野昌哉

<会員消息>

☆坂本三千一

1月 第5回徳島市「街づくりデザイン賞」選考委員会委員 徳島市開発部デザイン室

4月 第3回放美展運営委員出品 郷土文化会館

- | | | |
|-----|----------------------------|-----------------|
| 5月 | インテリア講座「テレビスタジオに見るインテリア」講師 | 徳島市立木工会館 |
| 6月 | 街づくり懇話会「未来想」委員 | 藍住町 |
| 7月 | 'ガラスワークショップ講演会講師 | 徳島市文化振興会社 |
| 9月～ | 県芸術祭秀作巡回美術展出品（県内各所） | 徳島県文化課 |
| 9月 | 県美協デザイン部会展 テーマ「ゴミを考える」出品 | 文化の森21世紀館 |
| 10月 | 藍美展出品（藍住美術協会） | 藍住町みどりの広場管理棟 |
| 11月 | 第49回県美術展委嘱出品（県美協） | 郷土文化会館 |
| 12月 | 平成6年度県芸術祭審査委員会委員 | 徳島県文化課 |
| 12月 | 干支展出品（美協デザイン部） | シビックセンター市民ギャラリー |

☆齋藤 繁次

- | | | |
|-----|---------------|-----------------|
| 2月 | アーティストバジャー展 | 松茂町 阿波の里 |
| 4月 | OMEN展 | ドクターエンドー徳島 |
| 4月 | 放美展審査員出品 | 郷土文化会館 |
| 5月 | 齋藤志津子・繁次イラスト展 | ドクターエンドー鳴門 |
| 7月 | 齋藤繁次・志津子イラスト展 | ヨンデンエネルギープラザ阿南 |
| 8月 | Tシャツアート展 | 高知県大方町砂浜美術館 |
| 9月 | 美協デザイン部会展 | 文化の森21世紀館 |
| 10月 | デザインドリーム展 | 徳島市木工会館 |
| 10月 | 齋藤繁次イラスト展 | 川島町 大都会 |
| 10月 | アートパフォーマンス展 | 松山市ラフォーレ原宿 |
| 10月 | 県美術展招待出品 | 郷土文化会館 |
| 11月 | 齋藤繁次イラスト展 | 徳島市 森珈琲店 |
| 11月 | 藍美展 | 藍住町緑の広場 |
| 12月 | 齋藤ファミリー展 | ドクターエンドー鳴門 |
| 12月 | えと展（美協デザイン部） | シビックセンター市民ギャラリー |

☆沢口 功

- | | | |
|-----|-------------------------|-----------------|
| 3月 | 沢口功イラスト展 3/3～3/6 | ヨンデンエネルギープラザ阿南 |
| 4月 | 沢口功個展 4/9～4/11 | ヨンデンプラザ徳島ギャラリー |
| 9月 | 沢口功個展 9/22～10/3 | 那賀川町立図書館 |
| 9月 | 美協デザイン部会展 テーマ「ごみを考える」 | 文化の森21世紀館 |
| 12月 | 美協デザイン部干支「亥」展 12/24～1/8 | シビックセンター市民ギャラリー |

☆坂野美恵子

- | | | |
|---------|-----------------------|----------|
| 7月 | 坂野美恵子グラフィックアート展 7月～9月 | ルネッサンス鳴門 |
| 8月 | 第79回二科展デザイン部門会友出品 | 東京 |
| 9月 | 坂野美恵子グラフィックアート展 | 森 珈琲店 |
| 10月 | 第49回県美術展無鑑査出品 | 郷土文化会館 |
| 1995 1月 | 坂野美恵子個展 1/4～1/31 | パーレル |

☆敷島のり子

- | | | |
|-----|---------------------|-----------------|
| 4月 | 第3回放美展出品 | 郷土文化会館 |
| 9月 | 美協デザイン部会展「ゴミを考える」出品 | 文化の森21世紀館 |
| 10月 | 徳島県秀作巡回美術展出品 | 県内各地 |
| 11月 | 第49回県美術展 準特選 | 郷土文化会館 |
| 12月 | 美協デザイン部「干支展」出展 | シビックセンター市民ギャラリー |

☆田中 一郎

- | | | |
|-----|--|-----------------|
| 4月 | 第3回放美展審査員出品 | 郷土文化会館 |
| 9月 | 「第2回燃えさかる西陽音楽祭 in 青木邸」
ポスター・チラシ・チケットデザイン担当 | |
| 9月 | 美協デザイン部会展 | 文化の森21世紀館多目的ホール |
| 10月 | 「第5回ヴォーカルグループ Sole コンサート」
ポスター・チラシ・チケットデザイン担当 | |
| 11月 | 学校法人鴨島学園めぐみ幼稚園創立70周年記念
コンサートポスターデザイン担当 | |
| 11月 | 「第9回徳島ジュニアコーラス定期演奏会」
プログラム・チラシ・チケットデザイン担当 | |
| 12月 | 美協デザイン部「干支展」出品 | シビックセンター市民ギャラリー |

☆浅野 昌哉

- | | | |
|-----|---------------------|-----------------|
| 4月 | 第3回放美展 運営委員出品 | 郷土文化会館 |
| 9月 | 県芸術祭秀作巡回美術展出品 | 県内各地 |
| 9月 | 美協デザイン部会展「ごみを考える」出品 | 文化の森21世紀館 |
| 11月 | 第49回県美術展招待出品 | 郷土文化会館 |
| 12月 | 美協デザイン部「干支展」出品 | シビックセンター市民ギャラリー |

第49回徳島県美術展(県展)公募規定

部門 区分	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	
搬入日	10月16日	10月15日	10月9日	10月16日	10月16日	10月8日	10月16日	
搬入先	徳島県郷土文化会館							
審査日	10月16日	10月16日	10月9日	10月16日	10月16日	10月9日	10月16日	
審査員	中路融人	馬越陽子	杵島隆	綿引道郎	山下恒雄	鈴木木子 西金桐 支聴華 星松	青葉益輝	
出品料	協会員 1点目 2,200円 その他の方 1点目 3,300円・ 2点目からはすべて 1,100円							
出品制限・大きさ・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない ・20号以上額ブチふくめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り(ガラス・アクリル可) ・吊り紐 	同左	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・組・単写真とも画面サイズ、半切以上(カラーは印画に限る) ・無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る ・パネル張り・額(組写真は1パネル(90×180cm以内)に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの) 	同左	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m 重量200kg以内 ・材料は自由、展示可能なものに限る 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・大きさ制限なし(ただし、平面作品はタテ2.2×ヨコ1.8m以内) ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 展示できる用具をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 半切又は全紙$\frac{1}{2}$以上仕上げ面積が$1.47m^2$(16平方尺)以内額・横自由巻子本・帖(40×300cm以内)(例)61cm(2尺)×242cm(8尺)枠張りに限る79cm(2.6尺)×181cm(6尺)91cm(3尺)×161cm(5.3尺)121cm(4尺)×121cm(4尺)半切・全紙$\frac{1}{2}$・聯書まで額装アクリル入りでもよい無鑑査以上は半切以内 ●部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・B1パネル横728×縦1,030ミリ 厚さ25ミリ程度 ・課題は自由(実在の商品名・会社名等は除く) ・パネル張り ・吊り紐
入賞	特別賞 1点 特選 2点 特選 3点 準特選 若干名	特別賞 1点 特選 3点 準特選 5点 入選 若干名	特別賞 1点 特選 4点 特選 8点 入選 若干名	特別賞 1点 特選 1点 準特選 2点 入選 若干名	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 入選 若干名	特別賞 1点 特選 6点 準特選 13点 入選 若干名	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 入選 若干名	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 ・展示作品は一期は11月16日(水)、二期は11月23日(水)の午後5時から午後6時までに搬出すること。 ・所定の期日までに搬出しな場合は主催者において処分する。 							

第 48 回 県 美 術 展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日 本 画

(特別出品)

荻野行夫
(招待) 尾上弘 子
村上 凌 湖
田中 冬 健
矢野 秋 溪
岡野 英 彦
土方 英 子
西野 和 男

(無鑑査)

土井洋子

☆ 洋 画

(特別出品)

佐野比呂志
永山隆公 二雄
(招待) 水原 康 慎
清川 瀬 敏
楠橋 岩 征
高立 露 部
服岡 本

☆ 写 真

(特別出品)

福島正仁
(招待) 田清次
増田清次

井木西勝 藤武 笹 櫛 酒 三 上 森 橋 安 前 荒 林
上田條西井内田 淵 井 好 野 本 長 浦 井
光英征雅 敏 博 和 照 賢 圭 芳 賢 敏
雄之二夫 梵 亨 雄 魏 司 義 文 一 祐 剛 久 治 彦 寿 章 美
光晴 良 行 隆 恵 作 宏 勉

☆ 彫 刻

(特別出品)

河崎藤口下田永
(招待) 佐濱井鎌松

☆ 美 術 工 芸

(特別出品)

山 上 馨

(招待)

居橋 昌 猪 三 雄 一 一 恵
新 高 森 森 七 多 智 松 松 森 橋
条 花 下 下
天 双 栢 藍 幽 泰 青 臯 清 南 莊 草 霄 醒 古 桂 幾 大
鶴 鶴 翠 州 香 泉 雨 鵬 泉 龍 秀 石 月 鶴 舟 月 賀 歌

☆ 書 道

(特別出品)

荒田田新
(招待) 久 讚 宮 長 高 西 成 渡 原 芝 前 清 美 春
井 中 中 居 待 保 岐 井 原 原 尾 辺 田 原 川 水 馬 藤

☆ 贊助作品

(日本画)

原 田谷崎画) 田野神 木田崎田市地東田川田刻) 田上川道) 村上(書道) 坂本

(洋画)

篠森高長吉 天大岡柏河黒後武津板榊松岡

三 蔦瑞 二 良多雅安志仁善威俊

叢苑雪寿進 郎節代子雄市郎一郎汎一務寛守 利典存光

久正南 三千一

藤 次

美 次

次

次

風子峰流泉鷺苑水翠子仙代城風雲子堂泉苑園鵬香風 二香泉芳 哉次

潮史美景虹好静溪溪順彭和華美鳴勝眞鳴春小景佳霄 英清玲清 昌繁

谷谷瀬上間藤田下島井田口若市尾藤久松田岡 本查) 田本田田 待野藤

岸中長勝川三近上日岡荒竹山藤武中佐富永島吉浜坂 (無隅松薄多 招浅芥

☆ デザイン

(招待) 野藤

あ と が き

1995年報をおとどけいたします。

例年のように、各部会長から各部の一年間をまとめていただきました。表紙は彫刻部の井下俊作氏からいただきました。

徳島県美術展（県展）も本年の秋いよいよ50回記念展を開催することになりました。すでに「徳島県美術展の歩み」につきましては、各部から編集委員を選出して準備をすすめております。この記念誌にふさわしい写真がありましたら、是非ご提供いただけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

その他50回記念展にふさわしい関連行事を協議いたしております。

放美展も第4回を迎え、春の総合美術展として少しずつ充実してまいったかと考えております。どうぞお仲間をさそってご出品くださるようお願いいたします。

なお、この年報は来年は「徳島県美術展の歩み」の中に包含いたして編集いたしますので、年報としてはお休みいたしますのでご了承ください。

会員の皆さん方がご健勝で創作活動に励まれ、多方面でご活躍くださいますとともに、本会が発展いたしますようご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成7年3月

県美術家協会事務局

平成7年3月30日 印刷
平成7年3月31日 発行

編集者 清水 博
装幀者 井下 俊作
発行人 佐野 比呂志
印刷所 原田印刷出版株式会社
発行所 徳島県美術家協会